

Kofax Analytics for TotalAgility

製品機能ガイド

バージョン: 1.4.0

日付: 2020-07-02

KOFAX

© 2019 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

目次

| | |
|---|-----------|
| 序文..... | 5 |
| 対象となる読者..... | 5 |
| 関連資料..... | 5 |
| オフラインのドキュメント..... | 5 |
| トレーニング..... | 6 |
| Kofax 製品のヘルプの入手..... | 6 |
| 第 1 章: 前書き..... | 7 |
| Kofax Analytics for TotalAgility..... | 7 |
| 第 2 章: ダッシュボードの概要..... | 8 |
| Kofax Analytics for TotalAgility インターフェイスの主要要素..... | 8 |
| ビューア..... | 9 |
| 言語の選択..... | 10 |
| Excel にエクスポート..... | 10 |
| 第 3 章: Kofax Analytics for TotalAgility ダッシュボード ビュー..... | 12 |
| デフォルト ビュー..... | 12 |
| オペレータ..... | 12 |
| 概要..... | 13 |
| ブレークダウン..... | 15 |
| 保留時間..... | 17 |
| システムの概要..... | 18 |
| ジョブ..... | 18 |
| アクティビティ..... | 23 |
| リソース..... | 24 |
| ドキュメント..... | 29 |
| 処理..... | 29 |
| 分類..... | 43 |
| 抽出..... | 48 |
| 管理..... | 52 |
| データ保持..... | 52 |
| フィルタ フィールド..... | 53 |
| 第 4 章: レコードの定義..... | 54 |
| アクティビティ レコード..... | 54 |
| ジョブ レコード..... | 57 |
| ドキュメント レコード..... | 60 |

| | |
|----------------------|----|
| Field Fact レコード..... | 63 |
| リソース グループ レコード..... | 64 |
| キュー レコード..... | 64 |
| フィールド精度レコード..... | 66 |
| セッション レコード..... | 66 |

序文

このガイドでは、Kofax Analytics for TotalAgility ダッシュボードの概要について説明します。このガイドをお読みいただくことで、製品の機能を理解することができます。この情報は、直面しているビジネス上の課題に対してどの機能が重要であり、どの機能が会社のニーズに最も適しているかを決定するために役立ちます。

対象となる読者

このガイドは、Kofax TotalAgility および Kofax Transformation モジュールのビジネス データをリアルタイムのインタラクティブ ダッシュボードで分析したいと考えているお客様および見込み顧客を対象としています。ユーザーには、請求書やその他のプロセスを担当する個人などのビジネス プロセスの所有者が含まれます。

Kofax TotalAgility および Kofax Transformation モジュールの実装を計画しているビジネス所有者については、ワークフローの有効性と組織の健全性を決定するうえでこのガイドが特に役立ちます。

関連資料

Kofax Analytics for TotalAgility の完全なドキュメント セットは、次の場所にあります。

<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KAFTA/1.4.0-3k8rtu8xuv/KAFTA.htm>

このガイドに加えて、ドキュメント セットには次の項目が含まれています。

- Kofax Analytics for TotalAgility 管理者ガイド: Kofax Analytics for TotalAgility の標準的なインストール/アップグレードおよびサイレント インストール/アップグレードについて説明しています。また、製品の操作開始に必要な構成手順についても説明しています。
- Kofax Analytics for TotalAgility リリース ノート: リリース ノートには、Kofax Analytics for TotalAgility の他のドキュメントには含まれていない可能性がある最新の情報が含まれています。
- Kofax Insight のドキュメント: Kofax Insight 6.0.0 の製品ドキュメントはオンラインで管理されています。

<http://docshield.kofax.com/Portal/Products/Insight/600-j3y2jmmw57/Insight.htm>

オフラインのドキュメント

オフラインで使用するドキュメントにアクセスするには (インターネット接続なし)、ドキュメントを [Kofax フルフィルメント サイト](#) からダウンロードします。ドキュメント パッケージは、圧縮ファイル KofaxAnalyticsForTotalAgilitydocumentation1.4.0_EN.zip としてダウンロードできます。この .zip ファイルには『製品機能ガイド』と『管理者』ガイドを含む印刷フォルダが含まれています。

トレーニング

Kofax では、お客様に Kofax Analytics for TotalAgility ソリューションを最大限に活用していただくことを目指して、教室でのトレーニングとコンピュータ ベースのトレーニングの両方を提供しています。利用可能なトレーニングの種類とスケジュールの詳細については、Kofax の Web サイト (www.Kofax.com) を参照してください。

Kofax 製品のヘルプの入手

[[Kofax Knowledge Base](#)] (Kofax ナレッジ ベース) リポジトリにある記事の内容は定期的に更新され、Kofax 製品の最新情報について参照できます。製品に関してご不明の点がある場合は、Knowledge Base (ナレッジ ベース) で情報を検索することをお勧めします。

[[Kofax Knowledge Base](#)] (Kofax ナレッジ ベース) を参照するには、[Kofax Web サイト](#) にアクセスして、ホームページで [サポート] を選択してください。

注 Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジ ベース) は Google Chrome、Mozilla Firefox または Microsoft Edge 向けに最適化されています。

Kofax Knowledge Base (Kofax ナレッジ ベース) は以下の内容を提供します。

- 強力な検索機能で必要な情報をすぐに見つけることができます。
[**Search**] (検索) ボックスに目的の語句を入力し、検索アイコンをクリックしてください。
- 製品情報、設定の詳細、リリース情報などのドキュメント。
[[Kofax Knowledge Base](#)] (Kofax ナレッジ ベース) のホームページをスクロールして、製品ファミリーを見つけます。目的の製品ファミリー名をクリックして、関連記事の一覧を表示します。一部の製品ファミリーの場合は、関連記事を表示するために Kofax Portal (Kofax ポータル) の有効なログイン情報を入力する必要があります。
- [[Kofax Customer Portal](#)] (Kofax カスタマー ポータル) へのアクセス (資格のあるカスタマー向け)
ページ上部にある [**Customer Support**] (カスタマー サポート) リンクをクリックしてから、[**Log in to the Customer Portal**] (カスタマー ポータルにログイン) をクリックします。
- Kofax Partner Portal (Kofax パートナー ポータル) へのアクセス (資格のあるパートナー向け)
ページ上部にある [**Partner Support**] (パートナー サポート) リンクをクリックしてから、[**Log in to the Partner Portal**] (パートナー ポータルにログイン) をクリックします。
- Kofax サポート コミットメント、ライフサイクル ポリシー、電子フルフィルメントの詳細、セルフサービス ツールへのアクセス。
[**General Support**] (一般サポート) セクションまでスクロールして、[**Support Details**] (サポートの詳細) をクリックし適切なタブを選択します。

第 1 章

前書き

このガイドでは、Kofax Analytics for TotalAgility のインストールに含まれるダッシュボード ビューの概要を記載しています。これらのダッシュボードは、ワークフローを通じてデータを追跡し、プロセスとリソースの有効性を分析して、ビジネス上の問題に対処するために役立ちます。これらのビューには、グラフ、グリッド、ピボット テーブル、およびレポートを使用したデータのさまざまな視覚的および分析的表現が含まれます。システム管理者、ビジネス プロセス管理者、およびその他の利害関係者は、このインターフェイスを使用して分析情報を可視化します。製品で提供される包括的なビュー タイプのセットから選択するか、Insight Studio を使用して、定義済みのコンポーネントに基づいてカスタム ビューを作成します。

Kofax Analytics for TotalAgility

Kofax Analytics for TotalAgility は Kofax TotalAgility の拡張機能であり、ワークフローを移動するときにデータを追跡し、収集したデータからビジネス インテリジェンス ダッシュボードを生成します。

TotalAgility でリンク済みサーバーを使用する場合、レポート (キャプチャ) 情報は、リンク済みの TotalAgility サーバーからメインの TotalAgility サーバーに送信されます。コア BPM データは分散サイトに依然として存在します。メイン サーバーからのレポート (キャプチャ) 情報を含め、リンク済みの各 Kofax TotalAgility サーバーからの BPM 情報を直接含めるために Kofax Analytics for TotalAgility を構成してください。

Kofax Analytics for TotalAgility には以下が含まれます。

- ビューア: Kofax Analytics for TotalAgility 使用データベース内に保存されているデータから生成された標準ビューまたはカスタム ビューにデータを表示するために使用します。
- Insight Studio: ビューの作成と編集に使用します。

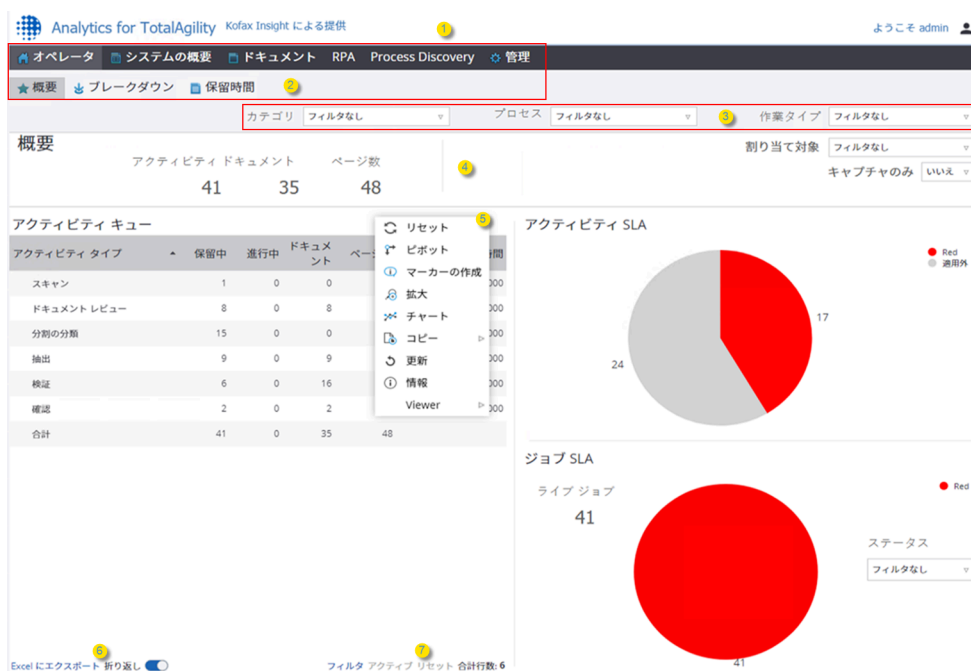
Kofax Analytics for TotalAgility のインストールの詳細は、『Kofax Analytics for TotalAgility 管理者ガイド』を参照してください。

第2章

ダッシュボードの概要

Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボード (ビューアと呼ばれます) は、インタラクティブなビューとレポートで構成されています。

Kofax Analytics for TotalAgility インターフェイスの主要要素



| | | |
|---|-----------------------|---|
| 1 | タイトル バー | <p>すべてのインターフェイス ウィンドウに表示され、次のものが含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アプリケーションのタイトル • ログインしているユーザーの名前 • 現在の日付 • 追加のユーザー メニュー項目: <ul style="list-style-type: none"> • 言語: ダッシュボードの表示を別の言語に切り替えます。 • ブックマーク: 頻繁に使用するビューをお気に入りとして追加し、公開、個人、または選択したロールのブックマークの表示を設定します。 • バージョン情報: 現在インストールされている Kofax Analytics for TotalAgility のバージョンを表示します。 • ログアウト: 現在のユーザーでアプリケーションからログアウトします。 |
| 2 | ダッシュボード ビュー | <p>メニューを使用して、次のビューにアクセスします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • オペレータ • システムの概要 • ドキュメント • 管理 |
| 3 | グローバル フィルタ | <p>グローバル フィルタを使用して、ダッシュボードに表示されるデータを管理します。各ダッシュボードには異なるフィルタがあります。たとえば、カテゴリ、プロセス、および作業タイプのフィルタは概要ダッシュボードで使用でき、日付フィルタは履歴データを表示するレポートにのみ表示されます。</p> |
| 4 | ダッシュボード ビューア | <p>選択したダッシュボード ビューを表示します。</p> |
| 5 | コンテキスト メニューとグラフ オプション | <p>グラフまたはグリッドを右クリックして、必要に応じて、リセット、ピボット、拡大、表示、メトリック グリッド形式などのオプションにアクセスします。オプションは、グラフ タイプまたは右クリックした領域に応じて異なります。</p> <p>内訳を変更するには、グラフをダブルクリックします。たとえば、円グラフのデータ ビューをバッチ クラスから曜日またはモジュール名に変更します。オプションは、グラフ タイプに応じて異なります。</p> |
| 6 | Excel にエクスポート | <p>ダッシュボード ビューのコンテンツをエクスポート形式にエクスポートする場合のオプションが含まれます。</p> |
| 7 | チャートとグリッドのフッター | <p>一部のグラフおよびグリッドのフッターでは、追加機能を利用できます。この追加機能には、Excel にエクスポート、テキストの折り返し設定、フィルタ、リセットなどがあります。また、フッターには、行の総数などのグラフ固有またはグリッド固有の概要データが含まれます。</p> |

ビューア

ビューアを使用して、Kofax Analytics for TotalAgility インストールに含まれるダッシュボード ビューを表示します。これらのビューには、グラフ、グリッド、ピボット テーブル、およびレポートを使用し

たデータのさまざまな視覚的および分析的表現が含まれます。システム管理者、ビジネス プロセス管理者、およびその他の利害関係者は、このインターフェイスを使用して分析情報を可視化します。

Kofax Analytics for TotalAgility データベース内に保存されたデータから生成された標準ビューまたはカスタム ビューにデータを表示します。Kofax TotalAgility データベースから情報を抽出できます。

Insight を使用して新しいビューを作成します。詳細については、Kofax Insight の製品ドキュメントを参照してください。Kofax Analytics for TotalAgility インストールで提供されるビューをコピーして、変更する新しい名前でも保存することもできます。

デフォルトでは、ビューはオペレーティング システムの地域と言語の設定で選択された言語で表示されます。別の言語を選択するには [言語の選択](#) を参照してください。

言語の選択

Kofax Analytics for TotalAgility をインストールすると、ダッシュボード ビューがブラウザ設定で指定された言語で表示されます。ヘッダーのユーザー プロファイル オプションにある言語セレクトを使用して、次のサポートされている言語のいずれかに切り替えます。

- English (英語)
- Español (スペイン語)
- Français (フランス語)
- Italiano (イタリア語)
- Português (Brasil) (ポルトガル語 (ブラジル))
- Deutsch (ドイツ語)
- 日本語

Excel にエクスポート

[Excel にエクスポート] 機能を備えたグリッドでは、グリッドを Microsoft Excel にエクスポートするときにコンテンツとフォーマットに適用される設定を選択できます。

1. [Excel にエクスポート] が有効なグリッドで、[Excel にエクスポート] をクリックします。
[Excel にエクスポート] ページが表示されます。
2. 次の [コンテンツをエクスポート:] オプションを選択します。
 - [現在のページおよびトップ ドリルダウン]
 - [グリッドのすべてのページ、トップ ドリルダウン レベル。少し時間がかかります。]
 - [グリッドのすべてのページ、すべてのドリルダウン レベル。さらに時間がかかります。]
 - [現在の状態をエクスポートします。]
3. 次の [エクスポート形式] オプションを選択します。
 - [未フォーマットの XML ファイル、Excel で読み込み可]
 - [フォーマットされた Excel ファイル]
 - [未フォーマットの CSV ファイル]
 - [未フォーマットの TSV ファイル]
4. 必要に応じて、[有効になりました] を選択して、フラット エクスポートを使用します。これにより、ドリルダウンまたは拡張可能なデータの詳細が保持されます。

5. **[OK]** をクリックし、プロンプトが表示されたら、.xml ファイルを保存するか、または開きます。

第 3 章

Kofax Analytics for TotalAgility ダッシュボードビュー

このセクションでは、Kofax Analytics for TotalAgility ダッシュボードでの次のビューの操作について説明します。ダッシュボードは、ビジネス データを有意義な方法で確認するのに役立つインタラクティブなビューとレポートで構成されています。これらのビューには、チャート、グリッド、およびピボットのテーブルが含まれます。

次のメニューを使用して、Kofax TotalAgility のダッシュボード ビューにアクセスします。

- [オペレータ](#)
- [システムの概要](#)
- [ドキュメント](#)
- [管理](#)

デフォルト ビュー

Kofax Analytics for TotalAgility を起動すると、オペレータの概要がデフォルトで表示され、次の項目が一覧表示されます。

- [カテゴリ]、[プロセス]、[作業タイプ] のグローバル フィルタ
- [割り当て先]、および [キャプチャのみ] のページ フィルタ
- アクティビティ、ドキュメント、ページの総数
- アクティビティ キュー
- アクティビティ SLA
- ジョブ SLA

オペレータ

オペレータ ビューには、ライブ (現在の) アクティビティとジョブの分析に使用されるライブ データが含まれます。このダッシュボードに表示されるデータは、ほぼリアルタイムの情報を提供する、分単位の実行計画で更新されます。

オペレータ メニューには、次のビューが含まれます。

- [概要](#)
- [ブレイクダウン](#)
- [保留時間](#)

概要

概要には、すべてのライブ アクティビティに基づくデータが表示されます。ビューの上部には、現在 TotalAgility に表示されているライブ アクティビティ、ドキュメント、およびページ数が表示されます。このビューを使用して、アクティビティ キュー、ジョブ SLA、およびアクティビティ SLA を分析します。

アクティビティ キュー

保留中および進行中のライブ アクティビティの数、保留中のドキュメントとページの数、および最も長く保留されているアクティビティの時間など、各アクティビティ タイプの情報を表示するテキストチャート。

| 概要 | アクティビティ | ドキュメント | ページ数 |
|----|---------|--------|------|
| | 41 | 35 | 48 |

| アクティビティ キュー | アクティビティ タイプ | 保留中 | 進行中 | ドキュメント | ページ数 | 最大保留時間 |
|-------------|-------------|-----|-----|--------|------|-----------------|
| | スキャン | 1 | 0 | 0 | 0 | 4,17:19:52.000 |
| | ドキュメントレビュー | 8 | 0 | 8 | 3 | 11,20:02:48.000 |
| | 分割の分類 | 15 | 0 | 0 | 0 | 11,19:33:22.000 |
| | 抽出 | 9 | 0 | 9 | 0 | 11,18:37:28.000 |
| | 検証 | 6 | 0 | 16 | 15 | 11,18:33:05.000 |
| | 確認 | 2 | 0 | 2 | 30 | 11,18:11:10.000 |
| | 合計 | 41 | 0 | 35 | 48 | |

[アクティビティ キュー] グリッドでアクティビティ タイプを選択すると、[アクティビティの詳細] ポップアップにそのアクティビティ タイプの詳細 (プロセス名、アクティビティ、優先度、ステータス、期限、リソース、アクティビティ SLA、ドキュメント、およびページ) が表示されます。ステータス フィルタを使用して、アクティブ (進行中) などのステータス別にプロセスを表示します。

アクティビティの詳細 - スキャン

アクティビティのステータス フィルタなし

| プロセス名 | アクティビティ | 優先度 | ステータス | 期限 | リソース | アクティビティ SLA | ドキュメント | ページ数 |
|------------------------|---------------|-----|-------|-------------------------|----------|------------------------------------|--------|------|
| DEV_ThinClient_Sani... | Scan_Activity | 1 | 保留中 | 2020/06/19 10:14:23.097 | Everyone | ● | 0 | 0 |

Excel にエクスポート 折り返し

ジョブ履歴: 01BBA4E8EE984B28A6A5A19F807178A ケース参照: フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 1

| プロセス名 | バージョン | アクティビティ | ステータス | リソース | 時間 | 経過時間 | ドキュメント | ページ数 |
|-------|-------|---------|-------|------|----|------|--------|------|
|-------|-------|---------|-------|------|----|------|--------|------|

Excel にエクスポート 折り返し

フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 0

アクティビティの詳細グリッドで行を選択して、ジョブ履歴の詳細を表示します。

アクティビティが進行中の場合、リソース列には、アクティビティを実行したリソースが表示されません。アクティビティが進行中でない場合、リソース列には、アクティビティに割り当てられているリソースまたはグループが表示されます。

アクティビティ キューは、次のメトリックからの情報を使用します。

アクティビティの期限最大保留時間: 各キャプチャ アクティビティ タイプが保留されている最大時間。

アクティビティ SLA

SLA (緑、オレンジ、赤、および追加された追加レベル) 別にグループ化されたアクティビティの概要を示すグラフィカル レポート (円グラフ)。

それぞれのアクティビティは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、割り当て先、キャプチャのみでフィルタリングすることができます。

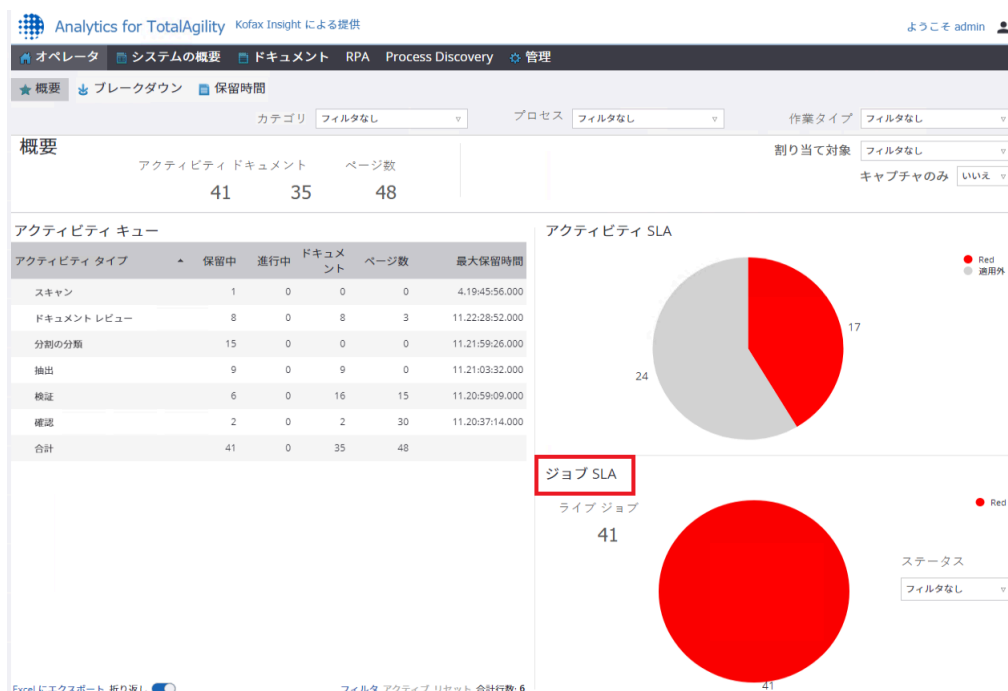


アクティビティ SLA グラフをクリックして、アクティビティ名、プロセス名、ジョブ ID、期限、優先度、割り当て先、SLA、ジョブ SLA、ジョブの優先度、ケース参照、ドキュメント数、ページ数などのアクティビティに関する詳細を示すテキスト レポートを表示します。

ジョブ SLA

SLA (緑、オレンジ、赤、および追加された追加レベル) 別にグループ化されたジョブの概要を示すグラフィカル レポート (円グラフ)。

それぞれのジョブは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、割り当て先、キャプチャのみ、およびアクティブや完了待ちなどのステータスでフィルタリングすることができます。



ジョブ SLA チャートをクリックして、プロセス、ジョブ ID、SLA、所有者、優先度、期限、状態、ステータス、ケース参照、作成者、およびバージョンを含むジョブの詳細を示すテキスト レポートを表示します。

ブレイクダウン

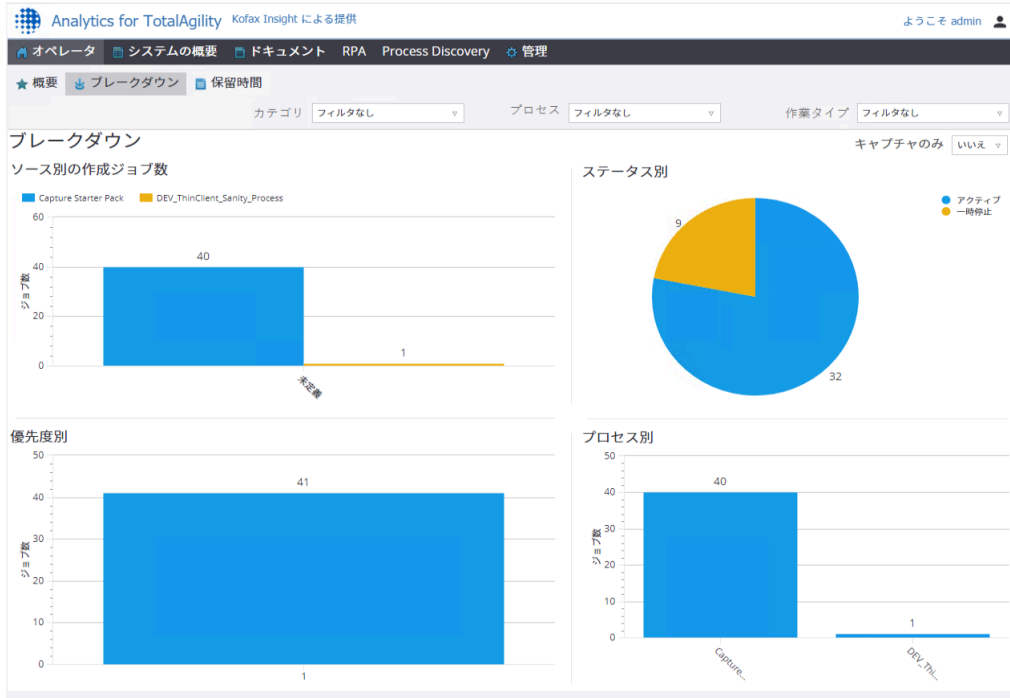
[ブレイクダウン] ビューを使用して、条件の範囲に基づいて概要のデータの詳細な分析を実行します。

ライブ ジョブと完了済みジョブの内訳を個別に表示できます。

ライブ ジョブの内訳を表示するには、[オペレータ] > [ブレイクダウン] に移動します。

[ブレイクダウン] ビューの各グラフには、ソース、優先度、ステータス、およびプロセスというジョブの内訳が、対応する大きさと分割されて表示されます。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。



ソースによって作成されたジョブ

「ソースによって作成されたジョブ」グラフは、作成されたジョブの内訳とそのソースをグラフィカルな棒グラフで表示します。この情報は、ライブ データに基づいています。積み上げ棒グラフが表示され、作成されたジョブ数とジョブ ソースが示されます。ジョブ ソースを更新するには、JobService で UpdateJobSource() SDK API を呼び出します。

注 ビジネス プロセスの最初のステップとして、ジョブ ソースを更新することをお勧めします。

ステータス別ジョブ

「ステータス別ジョブ」グラフには、すべてのライブ ジョブがステータス別の円グラフで表示されます。

円グラフをクリックして、プロセス別またはソース別にドリルダウンします。すべてのジョブをドリルダウンすることや、ドリルダウンするジョブ数を制限するように指定することができます。たとえば、制限を 20 に設定すると、上位 20 または下位 20 のジョブをドリルダウンするように選択できます。

以下に基づいて、円グラフの領域を選択してドリルダウンします。

- [プロセス]: ステータス別にグループ化されたプロセス名ごとに各ジョブの数を円グラフで表示します。
- [ソース]: ステータス別にグループ化されたソース名ごとに各ジョブの数を円グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

優先度別ジョブ

「優先度別ジョブ」グラフは、作成されたジョブの内訳と優先度をグラフィカルな棒グラフで表示します。この情報は、ライブ データに基づいています。

棒グラフには、ジョブの優先度に対するすべてのジョブの数が表示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- [プロセス]: 優先度別にグループ化された各ジョブ (プロセス名ごと) の数を棒グラフで表示します。
- [ソース]: 優先度別にグループ化された各ジョブ (ソースごと) の数を棒グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

プロセス別ジョブ

「プロセス別ジョブ」グラフには、プロセス別に作成されたジョブの詳細が棒グラフで表示されます。この情報は、ライブ データにのみ基づいています。棒グラフが表示され、プロセスタイプ別にすべてのジョブの数が見えます。

棒グラフのエリアを選択して、以下に基づいてデータをさらにドリルダウンします。

- [ソース]: プロセス別にグループ化されたソースごとの各ジョブ数を棒グラフで表示します。
- [優先度]: プロセス別にグループ化された優先度ごとに各ジョブの数を棒グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

保留時間

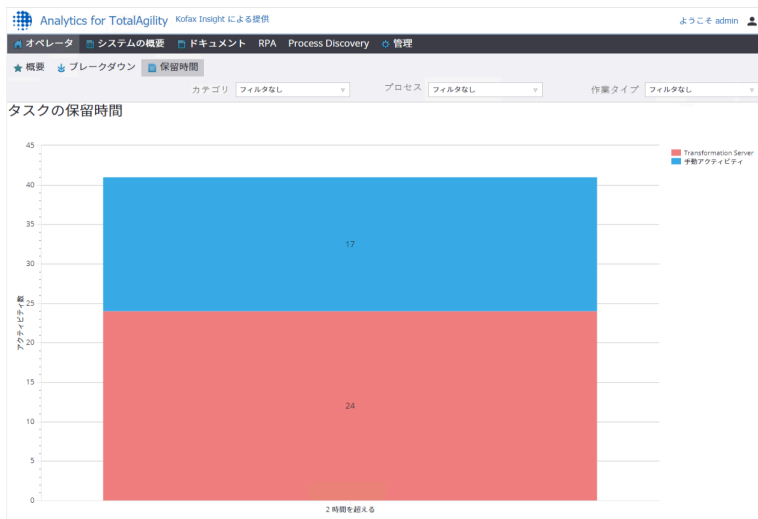
保留時間ビューを使用して、保留中の作業の量および比較的短い時間で完了する作業を確認します。これは、管理者がシステムの現在および過去のボトルネックを表示し、パフォーマンスの問題を特定するために役立ちます。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプでフィルタリングすることができます。

保留時間を表示するには、[オペレータ] > [保留時間] に移動します。

グラフィカルな棒グラフは、タスクの保留時間の概要を示します。グラフには、すべてのタイプ (キャプチャ、非キャプチャ、手動、自動) の現在のアクティビティが、以下の保留時間別にグループ化されて表示されます。

- 30 分未満
- 1 時間未満だが 30 分を超える
- 2 時間未満だが 1 時間を超える
- 2 時間を超える



グラフのエリアをクリックすると、[保留時間の詳細] ポップアップ リストに、各アクティビティの詳細が表示されます。詳細には、アクティビティ名、プロセス名、ジョブ ID、期限、優先度、割り当て先、SLA、ドキュメント数、およびページ数が含まれます。

システムの概要

このメニューには、次のサブメニューが含まれます。

- ジョブ
- アクティビティ
- リソース

ジョブ

ジョブ サブメニューには、次のビューが含まれます。

- ジョブ
- ブレークダウン
- 上申
- 傾向

ジョブ

このビューには、システムで完了したすべてのジョブの要約が表示されます。

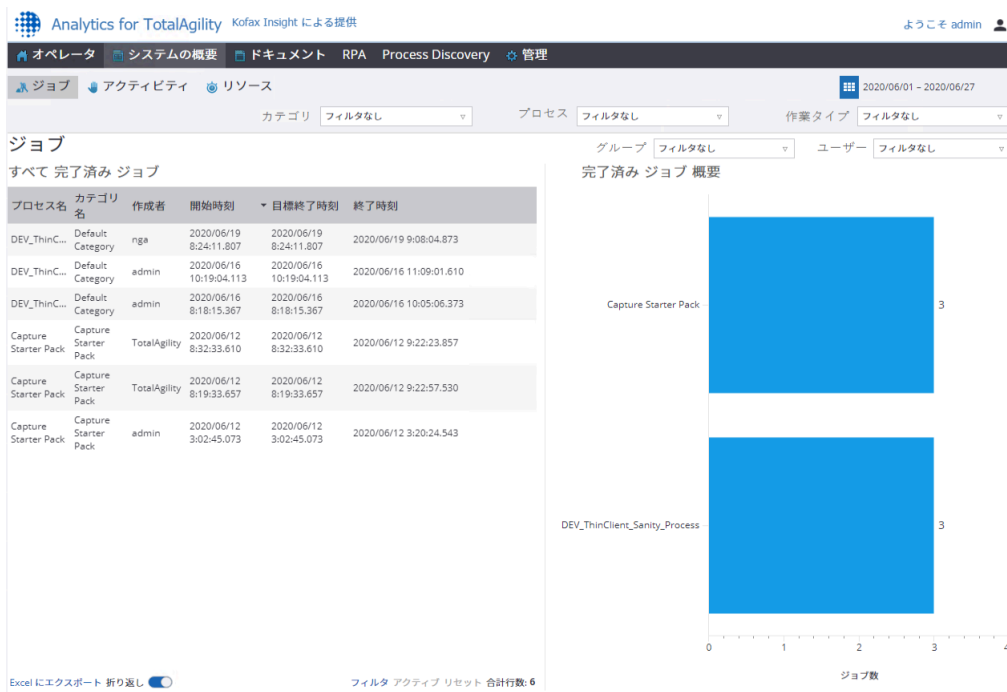
それぞれのデータは、グループとユーザーでフィルタリングすることができます。

すべての完了済みジョブは次のレコードを使用します。

完了済みジョブ リソース: ジョブ作成者、ジョブ作成者のグループ、プロセス、開始時刻、終了予定時間、終了時刻、ジョブ ID、カテゴリ、および作業日数も記録する完了済みジョブのリスト。

このレコードは、ジョブとリソース グループのレコードを情報のソースとして使用します。

ジョブの概要を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [ジョブ] に移動します。



ブレイクダウン

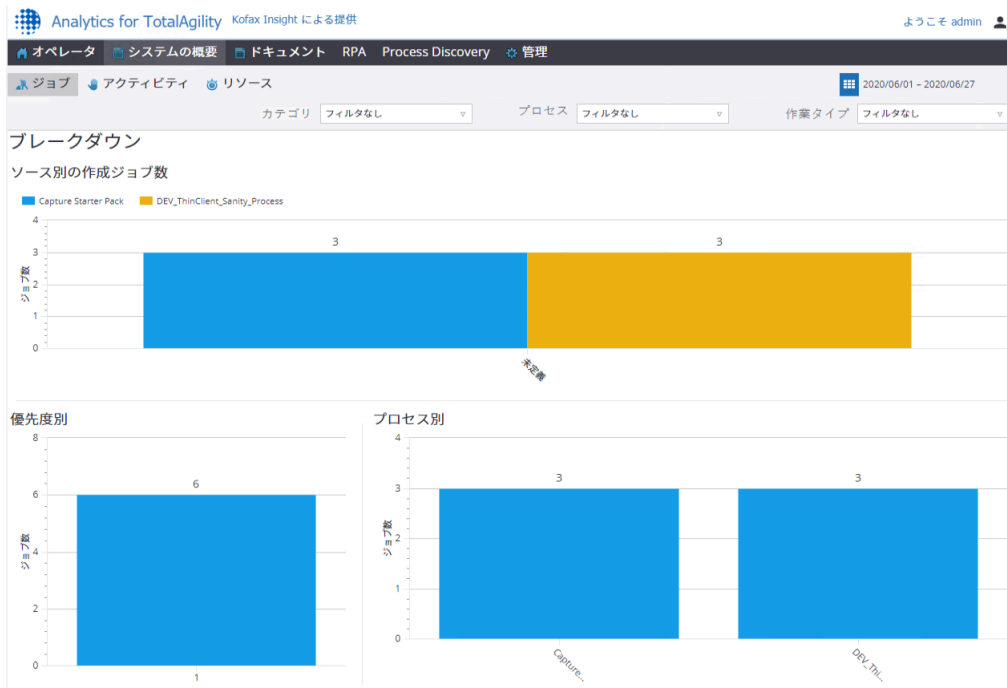
[ブレイクダウン]ビューを使用して、条件の範囲に基づいて**概要**のデータの詳細な分析を実行します。

ライブ ジョブと完了済みジョブの内訳を個別に表示できます。

完了済みジョブの内訳を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [ブレイクダウン] をクリックします。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプでフィルタリングすることができます。

ブレイクダウン ビューの各グラフには、ソース、優先度、ステータス、およびプロセスという完了済みジョブの内訳が、対応する大きさで分割されて表示されます。



ソースによって作成されたジョブの数

ソースによって作成されたジョブの数のグラフは、作成されたジョブの内訳とそのソースをグラフィカルな棒グラフで表示します。

積み上げ棒グラフが表示され、作成されたジョブ数とジョブソースが示されます。ジョブソースを更新するには、JobService で UpdateJobSource() SDK API を呼び出します。

注 ビジネスプロセスの最初のステップとして、ジョブソースを更新することをお勧めします。

優先度別ジョブ

優先度別ジョブチャートには、完了済みジョブの内訳と優先度が棒グラフで表示されます。

棒グラフが表示され、ジョブの優先順位に対するすべてのジョブの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- [プロセス]: 優先度別にグループ化された各ジョブ (プロセス名別) の数を棒グラフで表示します。
- [ソース]: 優先度別にグループ化された各ジョブ (ソース別) の数を棒グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

プロセス別ジョブ

プロセス別ジョブチャートは、プロセス別に完了済みジョブの内訳をグラフィカルな棒グラフで表示します。棒グラフが表示され、プロセスタイプ別にすべてのジョブの数が示されます。

棒グラフの領域を選択して、以下に基づいてデータをドリルダウンします。

- [ソース]: プロセス別にグループ化されたソース別の各ジョブ数を棒グラフで表示します。
- [優先度]: プロセス別にグループ化された優先度別の各ジョブの数を棒グラフで表示します。

元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。

上申

上申ビューを使用して、指定された期間内に発生したすべての上申を確認します。

このビューには、アラート、ドキュメント セット (ドキュメント期限)、プロセス例外、サーバー例外、およびトリガーという上申タイプによって作成およびグループ化されたジョブを示す棒グラフが表示されます。トップビューには、上申の総数が表示されます。

上申を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [上申] に移動します。

それぞれのデータは、日付、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。



棒グラフの上申タイプをクリックして、データをさらにドリルダウンします。たとえば、アラート上申タイプ別の作成ジョブ数を表示するには、グラフのアラートバーをクリックします。[アラート別の作成ジョブ数] ポップアップリストには、作成日 (降順でソート)、プロセス、ジョブ ID、優先度、ジョブ所有者、およびジョブ SLA の詳細を含むテキストレポートが表示されます。

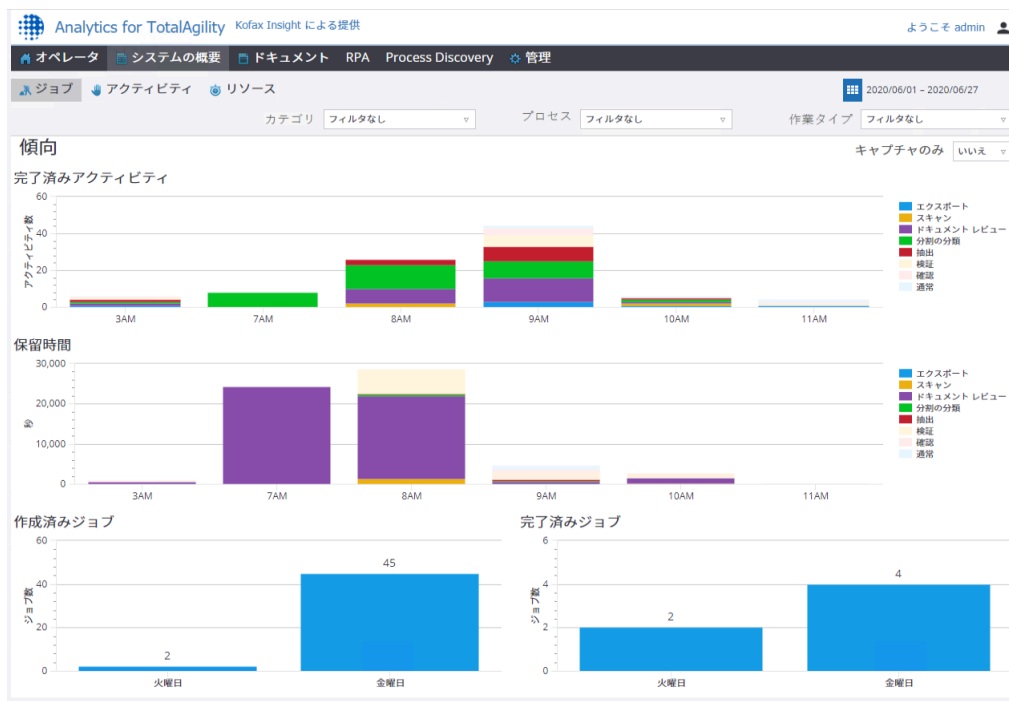
傾向

傾向ビューを使用して、TotalAgility で処理されたドキュメントの傾向情報を確認し、それに応じて人員配置を計画できます。

傾向ビューには、作成済みジョブ、完了済みアクティビティ、およびアクティビティの保留されていた時間を表わすグラフが棒グラフで表示されます。この情報には、キャプチャ アクティビティと非キャプチャ アクティビティが含まれます。

それぞれのデータは、日付、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。

アクティビティとジョブの傾向を表示するには、[システムの概要] > [ジョブ] > [傾向] に移動します。



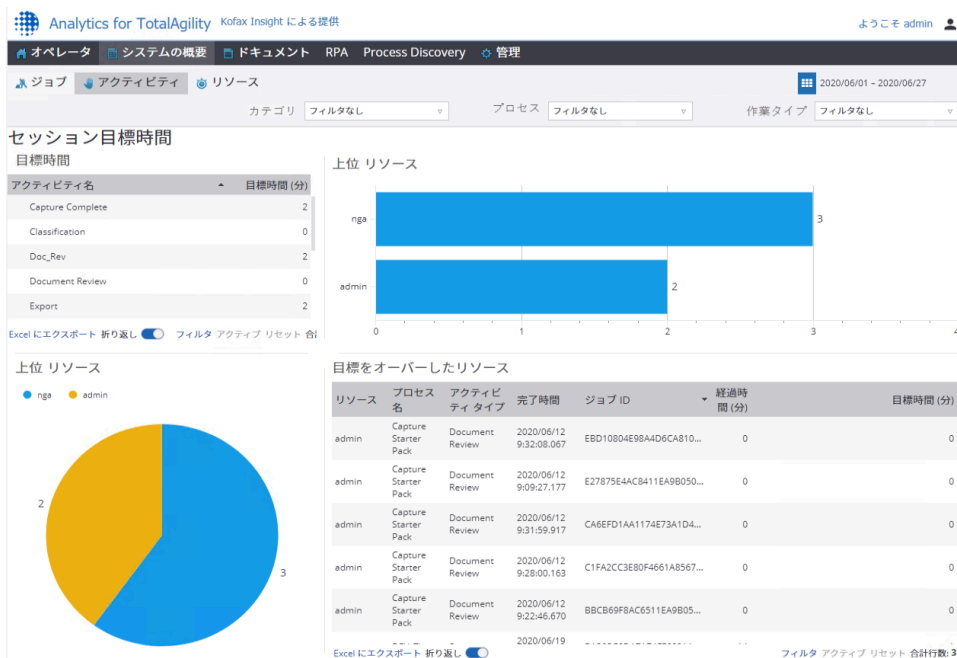
| ビュー/チャート | 説明 | 更新 |
|-------------|--|------|
| 完了済みアクティビティ | 1時間ごとに完了するアクティビティの内訳。積み上げ棒グラフが表示され、1時間ごとの完了済みアクティビティの数が示されます。たとえば、午前10時に3件の検証アクティビティと7件のドキュメントレビューアクティビティが完了したとします。 棒グラフの領域をクリックして、アクティビティタイプの内訳を時間単位で表示します。 | 時間単位 |
| 保留時間 | 積み上げ棒グラフには、アクティビティの保留時刻と、アクティビティが保留されていた時間が表示されます。この情報は、ライブデータと履歴データの組み合わせであり、定期的に更新されます。 棒グラフのエリアをクリックすると、アクティビティタイプのデータの内訳を時間単位で表示されます。保留中/完了済みアクティビティでジョブをさらにフィルタリングすることができます。 | 時間単位 |

| ビュー/チャート | 説明 | 更新 |
|----------|--|------|
| 作成されたジョブ | 棒グラフには、曜日ごとに作成されたジョブの内訳が表示されます。 棒グラフのエリアをクリックして、以下に基づいてデータをドリルダウンします。 <ul style="list-style-type: none"> プロセス: 特定のプロセスの日単位の内訳を表示します。 時刻: ジョブ数と時間単位の内訳を表示します。 元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。 | 時間単位 |
| 完了済みジョブ | 棒グラフは、曜日ごとに完了済みジョブの内訳を表示します。 棒グラフのエリアをクリックして、以下に基づいてデータをドリルダウンします。 <ul style="list-style-type: none"> プロセス: プロセス タイプと日単位の内訳を表示します。 時刻: ジョブ数と時間単位の内訳を表示します。 元のグラフに戻るには、[ホーム] または「戻る」矢印をクリックします。 | 日単位 |

アクティビティ

アクティビティ サブメニューを使用して、アクティビティ完了時のリソースのパフォーマンスに関連する詳細を示すセッション目標時間ビューにアクセスします。

ビューにアクセスするには、[システムの概要] > [アクティビティ] > [セッション目標時間] に移動します。



セッション目標時間

各アクティビティに関連付けられたセッション目標時間をテキスト チャートで表示します。

目標時間は、次のメトリックからの情報を使用します。

アクティビティ目標時間: アクティビティ タイプ別にグループ化されたアクティビティの想定期間の合計 (秒単位)。

トップ リソース

目標時間よりも短い時間でアクティビティを実行する上位リソースの円グラフと棒グラフを表示します。棒グラフまたは円グラフのエリアをクリックして、カテゴリ、プロセス アクティビティ、曜日、時間で情報をドリルダウンします。

上位のリソースは、次のメトリックの情報を使用します。

完了済みアクティビティ早期数: `WORKING_TIME_SPENT < EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS` であるアクティビティに関する情報。

目標をオーバーしたリソース

アクティビティの作業中に目標時間を超過したリソースを表示します。

目標をオーバーしたリソースは次のレコードを使用します。

完了済みアクティビティ遅延: 費やされた作業時間が想定期間よりも長い、完了済みアクティビティのリスト。

リソース

リソース サブメニューには、次のビューが含まれます。

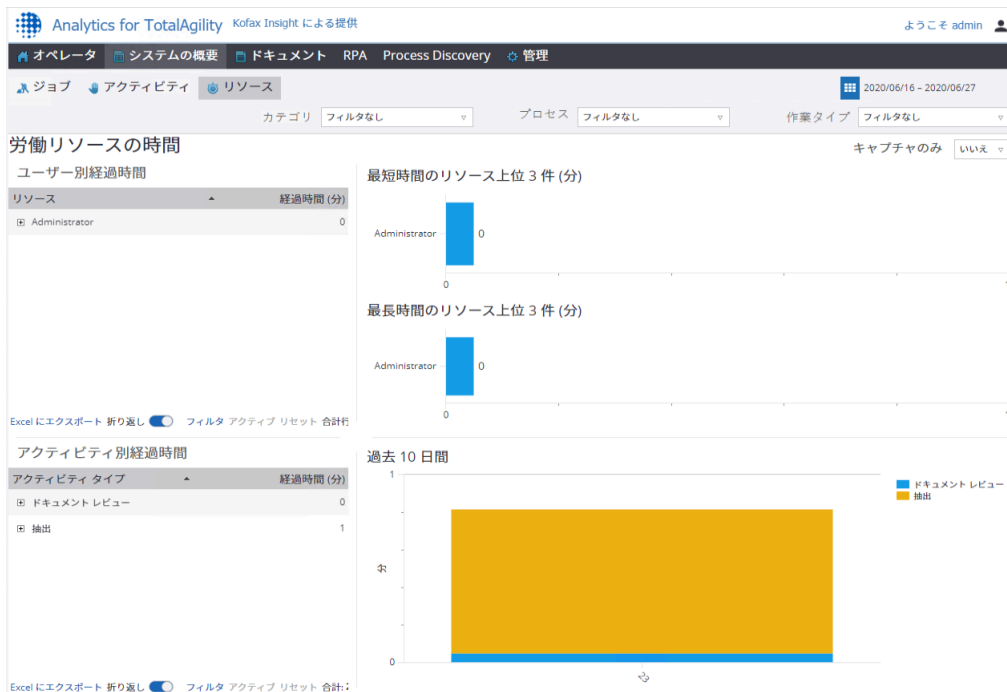
- [時間](#)
- [コスト](#)
- [リソース](#)

時間

労働リソースの時間ビューを使用して、リソースとコストがオペレーションに与える影響を分析します。リソースごとのアクティビティに費やされた作業時間の内訳を分単位で確認できます。

それぞれのデータは、日付、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。

リソース時間の詳細を表示するには、[システムの概要] > [リソース] > [時間] に移動します。



このビューには、対応する大きさで分割された労働リソースの時間、つまりユーザー別経過時間、最短時間のオペレータ上位3人、最長時間のオペレータ上位3人、アクティビティ別経過時間、および過去10日間が表示されます。

| ビュー/チャート | 説明 |
|------------------|--|
| ユーザー別経過時間 | 各アクティビティへのユーザー別経過時間 (分単位) を含むテキスト チャートを表示します。 ユーザー別経過時間は、次のメトリックの情報を使用します。 アクティビティ完了時刻除外 TotalAgility: システム リソースによって実行されなかった完了済みアクティビティ。 |
| アクティビティ別経過時間 | 各アクティビティに費やされた時間を分単位で含むテキスト チャートを表示します。 アクティビティ別経過時間は、以下のメトリックからの情報を使用します。 アクティビティ完了時刻: アクティビティ タイプ別にグループ化された、完了済みアクティビティに費やされた合計作業時間。さらに、曜日、時刻、プロセス、または演算子別に分類できます。 |
| 最短時間のリソース上位3件(分) | アクティビティに費やされた時間が最も少ない上位3つのリソースを含む棒グラフを表示します。 グラフのエリアをクリックして、アクティビティ タイプ、カテゴリ、isCapture、プロセス別にデータをさらにドリルダウンします。 最短時間のリソース上位3件(分) は、次のメトリックの情報を使用します。 アクティビティ完了時刻除外 TotalAgility: システム リソースによって実行されなかった完了済みアクティビティ。 |

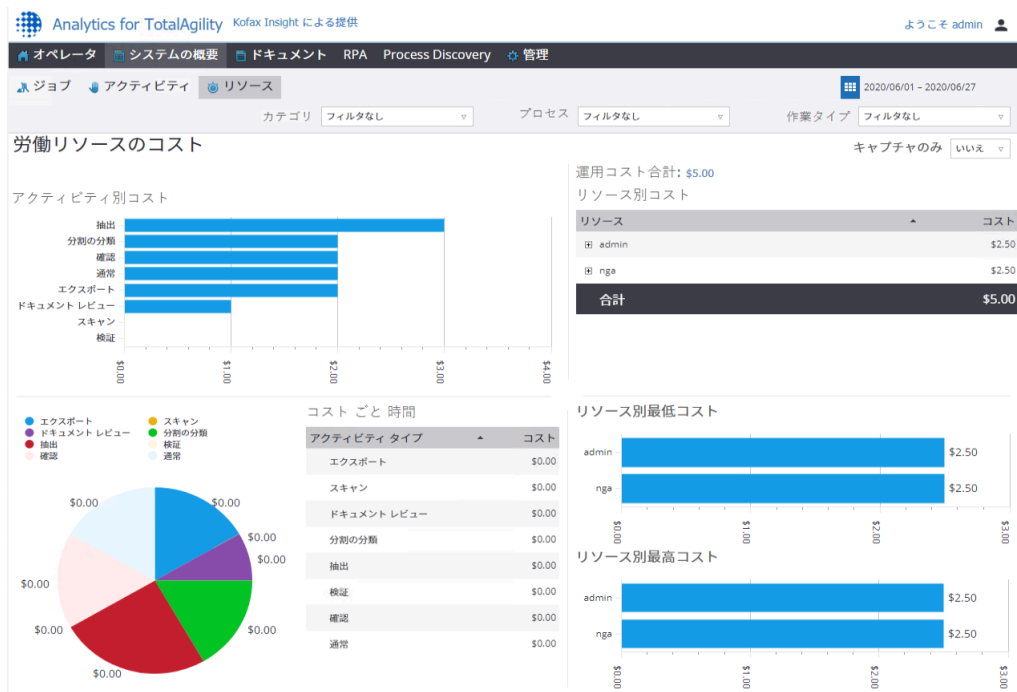
| ビュー/チャート | 説明 |
|---------------------|--|
| 最長時間のリソース上位 3 件 (分) | <p>アクティビティに費やされた時間が最大上位 3 つのリソースを含む棒グラフを表示します。</p> <p>グラフのエリアをクリックして、アクティビティ タイプ、カテゴリ、isCapture、プロセス別にデータをさらにドリルダウンします。</p> <p>最長時間のリソース上位 3 件 (分) は、次のメトリックの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻除外 TotalAgility: システム リソースによって実行されなかった完了済みアクティビティ。</p> |
| 過去 10 日間 | <p>過去 10 日間の各アクティビティに費やされた時間を含む棒グラフを表示します。</p> <p>棒グラフのエリアをクリックして、次のいずれかの方法でデータをさらにドリルダウンします。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 曜日: 曜日ごとのアクティビティに費やされた時間を表示します。 • 時刻: 時刻ごとのアクティビティに費やされた時間を表示します。 • IsCapture: 過去 10 日間のアクティビティのみに費やされた時間を表示します。 • 演算子: 演算子ごとのアクティビティに費やされた時間を表示します。 • プロセス: 各プロセスのアクティビティに費やされた時間を表示します。 <p>過去 10 日間は、次のメトリックの情報を使用します。</p> <p>アクティビティ完了時刻: アクティビティ タイプ別にグループ化された、完了済みアクティビティに費やされた合計作業時間。さらに、曜日、時刻、プロセス、または演算子別に分類できます。</p> |

コスト

労働リソースのコスト ビューを使用して、モジュールおよび演算子別にグループ化された全体的な運用労働コストを分析します。また、上位 5 人のオペレータに関する人件費の比較を表示することもできます。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、およびキャプチャのみでフィルタリングすることができます。

人件費の詳細を表示するには、[システムの概要] > [リソース] > [コスト] に移動します。



アクティビティ別コスト

棒グラフと円グラフには、各キャプチャ アクティビティのコストが表示されます。

アクティビティ別コストは、次のメトリックの情報を使用します。

完了済みアクティビティ コスト: アクティビティ タイプ別にグループ化された、完了済みキャプチャ アクティビティの総コスト。さらに、日付、プロセス、または演算子別に分類できます。

1 時間あたりのコスト

テキスト チャートには、1 時間あたりの各アクティビティのキャプチャのコストと、1 時間あたりのアクティビティ タイプ別実行コストが表示されます。

1 時間あたりのコストは、次のメトリックからの情報を使用します。

1 時間あたりの完了済みアクティビティ コスト: 完了済みアクティビティのコストの時間単位の内訳。

運用コスト合計:

テキスト チャートには、指定されたフレームと選択されたプロセスにわたる各アクティビティ タイプの実行コストの合計が表示されます。

総運用コストは、次のメトリックの情報を使用します。

アクティビティ完了コスト除外 TotalAgility: 完了済みアクティビティ コストに似ていますが、システムリソースによって完了したアクティビティは含まれません。

リソース別最低コスト

棒グラフには、最もコストのかからない3つのリソースが表示されます。フレームとコストの詳細を確認するには、棒グラフにマウスカーソルを移動します。

演算子あたりの最低コストは、次のメトリックの情報を使用します。

アクティビティ完了コスト除外 TotalAgility: 完了済みアクティビティ コストに似ていますが、システムリソースによって完了したアクティビティは含まれません。

リソース別最高コスト

棒グラフには、最もコストのかかる3つのリソースが表示されます。フレームとコストの詳細を確認するには、棒グラフにマウスカーソルを移動します。

演算子あたりの最高コストは、次のメトリックの情報を使用します。

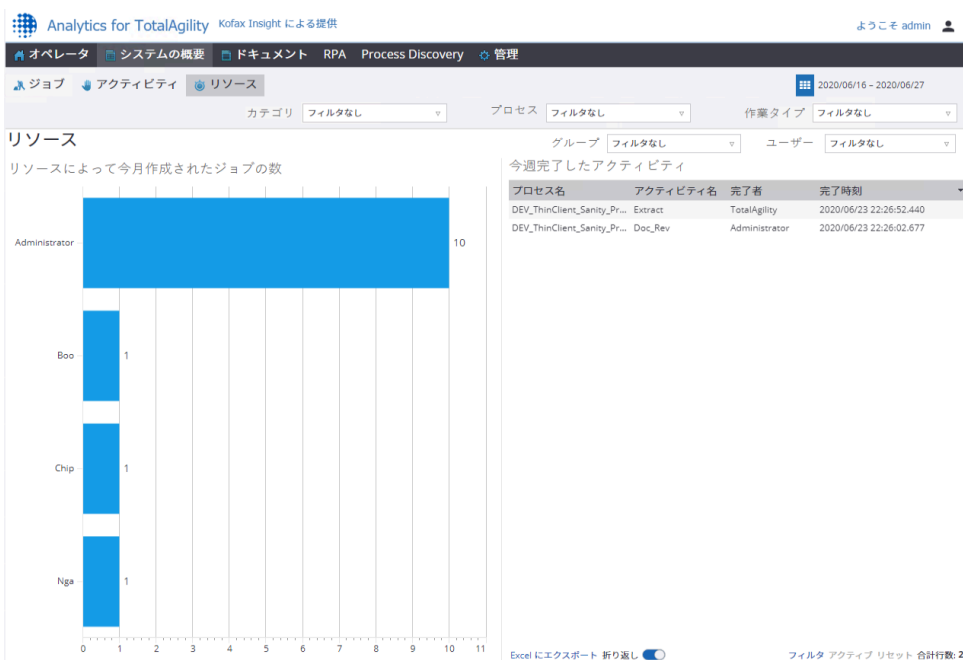
アクティビティ完了コスト除外 TotalAgility: 完了済みアクティビティ コストに似ていますが、システムリソースによって完了したアクティビティは含まれません。

リソース

[リソース]ビューを使用して、1か月のうちにリソースによって作成されたジョブの数と、週の初めから現在の日付までに各リソースが完了したすべてのアクティビティの概要を確認します。

リソースの概要を表示するには、[システムの概要] > [リソース] > [リソース] に移動します。

それぞれのデータは、カテゴリ、プロセス、作業タイプ、グループ、ユーザーでフィルタリングすることができます。



リソースによって今月作成されたジョブの数

棒グラフには、月の初めから現在の日付までに各リソースが作成したジョブが表示されます。

リソースが作成したジョブの数は、次のメトリックの情報を使用します。

作成済みジョブ リソース数: ジョブ作成者によって作成され、グループ化されたジョブの数。このメトリックは、作成済みジョブ リソース レコードを使用し、カテゴリ、開始時間、プロセス、およびジョブ作成者のグループを含みます。

今週完了したアクティビティ

テキスト チャートには、各リソースが週の初めから現在の日付までに完了したすべてのアクティビティの概要が表示されます。

今週完了したアクティビティは、次のレコードを使用します。

完了済みアクティビティ リソース: ジョブのカテゴリ、完了時間、実行中のリソースのグループ、アクティビティ名、およびプロセスも記録する、実行中のリソースによってグループ化された完了済みアクティビティのリスト。

このレコードは、アクティビティ、リソース グループ、およびジョブ レコードを情報のソースとして使用します。

ドキュメント

ドキュメント メニューには次のサブメニューが含まれます。

- [処理](#)
- [分類](#)
- [抽出](#)

ドキュメントのプロセス データが存在しない場合、Kofax Analytics for TotalAgility のドキュメント ビューには関連するプロセスとアクティビティの名前が [使用不可] と表示されます。このような状況を引き起こす可能性のあるシナリオには、次のものがあります。

- API がプロセス外で呼び出された場合。
- プロセスに「分析に含める」フラグが設定されていない場合。
- ジョブが作成される前にドキュメントが削除された場合 (SCNJ/DCNJ)。
- ドキュメントのページ数が変更され、同じセッションでドキュメントが削除された場合。
- ドキュメントの概要 | アクティビティ名でジョブの結果が強制終了して使用不可と表示される場合。

処理

このサブメニューには、次のビューが含まれます。

- [ドキュメントの傾向](#)
- [ドキュメントの検索](#)
- [削除済みのドキュメントとページ](#)
- [拒否](#)

- リソースの生産性
- ドキュメント処理時間
- 手入力なしで処理

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

ドキュメントの傾向

ドキュメントの傾向ビューを使用して、セッションごと、曜日ごと、または特定の曜日の時間ごとにドキュメントの傾向を確認します。このビューには、TotalAgility で処理されたドキュメントの傾向情報が表示されるため、それに応じて人員配置を計画できます。

ドキュメントの傾向を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [ドキュメントの傾向] に移動します。

[ドキュメントの傾向] ビューには、以下の棒グラフが表示されます。

- [アクティビティ タイプあたりの平均ドキュメント数]: 完了したキャプチャ アクティビティのタイプ別にグループ化された異なるドキュメントの数を表示します。グローバルな日付範囲によって、グラフが年、月、日、時間のいずれかでドリルダウンされるかが決まります。たとえば、1 日分のデータのみをフィルタリングする場合は X 軸は時間別のデータを示し、1 か月分のデータをフィルタリングする場合は日付別のデータを示します。
- [平日のドキュメント数]: 選択した日付範囲内で TotalAgility で作成された曜日でグループ化された異なるドキュメントの数を表示します。たとえば、火曜日のドキュメント数は、最新の火曜日だけでなく、選択した日付範囲内にあるすべての火曜日のドキュメント数です。
- [1 日の時間別ドキュメント数]: TotalAgility で作成された 1 日の時間別の異なるドキュメントの数を表示します。たとえば、午後 9 時に 20 件の検証アクティビティと 20 件のドキュメント レビュー アクティビティが完了したとします。棒グラフのエリアをクリックして、アクティビティ タイプの内訳を時間単位で表示します。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。



平日のドキュメント数および1日の時間別ドキュメント数のチャートの領域をクリックして、ドキュメントタイプ、アクティビティタイプ、曜日、ドキュメントタイプ、マシン名、プロセス別にデータをさらにドリルダウンします。すべてのジョブのデータをドリルダウンすることや、数の上限を指定して上位または下位のジョブをドリルダウンすることができます。たとえば、制限を20に設定すると、上位20または下位20のジョブをドリルダウンできます。

注 スキャナまたはMFPを使用してTotalAgilityでドキュメントを作成すると、スキャン中に使用されたマシンの名前が、平日のドキュメント数と1日の時間別ドキュメント数のチャートに表示されます。

ドキュメントの検索

[ドキュメントの検索]ビューを使用してフィールド名とフィールド値に基づいてドキュメントを検索すると、TotalAgilityでのドキュメントの処理に関連する詳細をすばやく見つけることができます。

ドキュメントを検索するには、[ドキュメント]>[処理中]>[ドキュメントの検索]に移動します。

デフォルトでは、結果ページは空です。TotalAgilityでのキャプチャ処理が完了すると、フィールド名が[ドキュメントの検索]ビューのフィールド名リストで検索できるようになります。結果を表示するには、検索条件としてフィールド名と値を入力します。複数のフィールドを選択して検索を実行することができます。1つ以上のフィールドを選択すると、そのフィールドを含んだ検索条件に一致するすべてのドキュメントが表示されます。

条件に一致する検索結果には、次の列が含まれます：親フォルダの識別子、ドキュメント、フィールド名、テーブル名、行、および値。

The screenshot shows the 'ドキュメント' (Documents) section of the Kofax Analytics for TotalAgility interface. The top navigation bar includes 'オペレータ', 'システムの概要', 'ドキュメント', 'RPA', 'Process Discovery', and '管理'. The user is logged in as 'admin'. The main area is titled 'ドキュメントの検索' (Document Search) and includes filters for 'Filter Field', '2020/06/01 - 2020/06/27', 'カテゴリ', '分類グループ', '抽出グループ', and 'ドキュメントタイプ'. Below the search area is a table with the following data:

| 親フォルダの識別子 | ドキュメント | フィールド名 | テーブル名 | 行 値 |
|---------------|--------------------------|-----------|-------|---------|
| BankAppFolder | 1: BHUtility Bill (1) | FirstName | | Not set |
| BankAppFolder | 1: BHApplication (1) | FirstName | | 1 |
| BankAppFolder | 2: BHDrivers License (1) | FirstName | | Not set |
| BankAppFolder | 3: BHDrivers License (1) | FirstName | | Not set |

検索結果の行をクリックして、**ドキュメントの概要**ポップアップで選択したドキュメントの詳細を表示します。このポップアップには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

削除済みのドキュメントとページ

[削除済みのドキュメントとページ] ビューを使用して、システムから削除されたすべてのドキュメントとページを表示すると、TotalAgility でリソースによって削除されたドキュメントとページを確認できます。削除済みのドキュメントとページの詳細を表示することもできます。

リソースおよびアクティビティ タイプのページ レベルのフィルタを使用して、データをフィルタリングします。グローバル日付フィルタを変更すると、フィルタはアクティビティの終了日に適用されます。

削除済みのドキュメントとページのリストを表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [削除済みのドキュメントとページ] に移動します。

The screenshot shows the '削除済みのドキュメントとページ' (Deleted Documents and Pages) view. The top navigation bar is the same as in the previous screenshot. The main area is titled '削除済みのドキュメントとページ' and includes filters for 'リソース' and 'アクティビティタイプ'. Below the filters are two tables:

ドキュメント

| 時間 | プロセス | アクティビティ名 | リソース | 親フォルダ | ドキュメント | ページ数 |
|------------------------|-----------------------|----------|-------|---------------|--------------------------|------|
| 2020/06/22 7:29:44.000 | (使用不可) | (使用不可) | admin | Root Folder | 2: (0) | 0 |
| 2020/06/19 9:04:05.000 | DEV_ThinClient_San... | Validate | nga | BankAppFolder | 3: BHDrivers License (1) | 1 |
| 2020/06/19 8:52:14.997 | DEV_ThinClient_San... | Doc_Rev | nga | BankAppFolder | 1: BHApplication (1) | 1 |

ページ数

| 時間 | プロセス | アクティビティ名 | リソース | 親フォルダ | ドキュメント | ページ数 |
|------------------------|-----------------------|----------|------|---------------|--------------------------|------|
| 2020/06/19 9:03:58.000 | DEV_ThinClient_San... | Validate | nga | BankAppFolder | 2: BHDrivers License (1) | 1 |
| 2020/06/19 8:52:26.997 | DEV_ThinClient_San... | Doc_Rev | nga | BankAppFolder | 1: BHUtility Bill (1) | 1 |

このビューには 2 つのグリッドが表示されます。

- 上部のグリッドには、削除済みドキュメントが時間、プロセス、アクティビティ名、リソース、親フォルダ、ドキュメント、およびページ数の詳細とともに一覧表示されます。[ドキュメント] グリッドの行をクリックして、選択したドキュメントの概要を別のウィンドウに表示します。**ドキュメントの**

概要ポップアップには、[全般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が含まれます。

- 下部のグリッドには、削除済みページが時間、プロセス、アクティビティ名、リソース、ドキュメントタイプ、ページ数の詳細とともに一覧表示されます。[ページ] グリッドの行をクリックして、選択したページのドキュメントの概要を別のウィンドウに表示します。ドキュメントの概要ポップアップには、[全般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が含まれます。

注 Kofax Analytics for TotalAgility で手動アクティビティを実行するリソースがドキュメント/ページを削除すると TotalAgility でアラートがトリガーされるように、削除されたドキュメントおよび/またはページについてのアラートを Insight Admin Console で設定します。

拒否

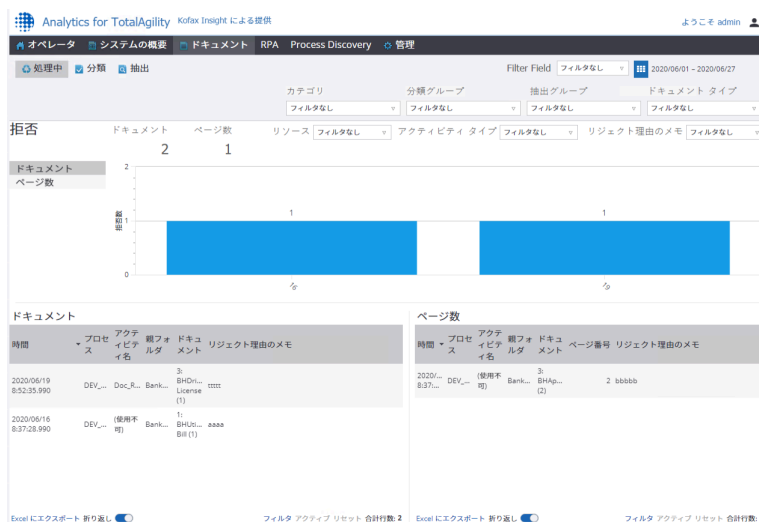
拒否ビューを使用して、処理中に拒否されたドキュメントまたはページに関連する詳細を取得できるため、拒否の原因となるパターンを特定し、問題を修正できます。

このビューには、時間の経過に伴う拒否の傾向を示すグラフが表示されます。ドキュメントでのキャプチャ処理が完了していない場合でも、TotalAgility で拒否されたドキュメントとページを表示できます。

注 ドキュメントまたはページが拒否され、アクティビティが完了する前に同じセッション内で拒否解除された場合、拒否されたページまたはドキュメントは拒否としてカウントされ、拒否ビューに表示されます。

イベントの日付でデータをフィルタリングするように日付フィルタを変更します。それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメントタイプ、リソース、アクティビティタイプ、およびリジェクト理由のメモでフィルタリングすることができます。

拒否されたドキュメントとページのリストを表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [拒否] に移動します。



拒否されたドキュメントと次の詳細を含むページがリストされた 2 つの個別のグリッドが表示されます。

- ドキュメント: このグリッドには、イベントの日時、プロセス、アクティビティ名、ドキュメント、親フォルダ、ドキュメント、およびリジェクト理由のメモが表示されます。
[ドキュメント] グリッドで行をクリックし、選択済みドキュメントの **ドキュメントの概要** を別のウィンドウに表示します。このポップアップには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。
- ページ数: このグリッドには、イベントの日時、プロセス、アクティビティ名、ドキュメント、ページ番号、およびリジェクト理由のメモが表示されます。
[ページ] グリッドで、行をクリックして、**ドキュメントの概要** を別のウィンドウに表示します。このウィンドウには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

リソースの生産性

リソースの生産性のキャプチャ ビューには、特定の日時にリソースによって処理されたドキュメント数の概要を示すレポートが表示されます。レポートには、処理済みドキュメント、分離調整、再分類、変更済みフィールドなどのキャプチャ イベントが反映されます。。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプ、リソース、アクティビティ タイプでフィルタリングすることができます。

リソースの生産性を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [リソースの生産性] に移動します。

| リソース | ドキュメント 処理時間 | 異なるドク ュメント | 平均時間/異なるドク ュメント | 処理済みド キュメント | 平均時間/処理 済みドク ュメント | 処理済みドキュメント のページ | 分離 | 再分類 | 変更済みフ ィールド | キースト ーク |
|-------|----------------|---------------|--------------------|----------------|-------------------------|--------------------|----|-----|---------------|------------|
| admin | 0.00:57:20.376 | 76 | 0.00:00:45.268 | 91 | 0.00:00:37.806 | 244 | 4 | 71 | 17 | 0 |
| nga | 0.00:23:29.894 | 4 | 0.00:05:52.474 | 11 | 0.00:02:08.172 | 19 | 1 | 2 | | |
| 合計 | 0.01:20:50.270 | 80 | 0.00:01:00.628 | 102 | 0.00:00:47.552 | 263 | 5 | 73 | 17 | 0 |

リソースの生産性のキャプチャレポートには、リソース、ドキュメント処理時間、異なるドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、およびキーストロークの詳細が表示されます。

[リソースの生産性をキャプチャ]グリッドの行をクリックして、選択したリソースの生産性の詳細を別のウィンドウに表示します。たとえば、管理者の生産性の詳細を表示するには、グリッドの[管理者]をクリックします。管理者の[生産性の詳細]ウィンドウには、プロセス、アクティビティ名、アクティビティタイプ、時間、ドキュメント処理時間、処理済みドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、およびキーストロークの詳細が含まれます。

グリッドの下部には、ドキュメント処理時間、ドキュメント数、ドキュメント平均処理時間、処理済みドキュメントのページ、分離、変更済みフィールド、およびキーストロークの各フィールドの合計が表示されます。

次の点に注意してください。

- リソースが手動のキャプチャ アクティビティにログインすると、そのリソースのセッション時間が累積されます。
- リソースがドキュメント レビューなどの手動アクティビティでドキュメント タイプを確認すると、処理済みドキュメントの数が増加します。
- リソースが手動アクティビティの分離エラーを修正すると、分離数が増加します。
- リソースが手動アクティビティでドキュメントを再分類すると、再分類の数が増加します。
- リソースが手動アクティビティのドキュメント インデックス フィールドを修正すると、変更済みフィールドの数が増加します。

| プロセス | アクティビティ名 | アクティビティタイプ | 時間 | ドキュメント処理時間 | 処理済みドキュメント | 平均時間/処理済みドキュメント | 処理済みドキュメントのページ | 分離 | 再分類 | 変更済みフィールド | キーストローク |
|--------------------|---------------|------------|------------------------|----------------|------------|-----------------|----------------|----|-----|-----------|---------|
| DEV_ThinClient_... | (使用不可) | スキャン | 2020/06/19 8:24:11.580 | 0.00:01:20.823 | 1 | 0.00:01:20.823 | 3 | | | | |
| DEV_ThinClient_... | Scan_Activity | スキャン | 2020/06/19 8:40:27.490 | 0.00:14:10.989 | 1 | 0.00:14:10.989 | 6 | | | | |
| DEV_ThinClient_... | Doc_Rev | ドキュメントレビュー | 2020/06/19 8:52:40.027 | 0.00:01:03.296 | 4 | 0.00:00:15.824 | 5 | 1 | 2 | | |
| DEV_ThinClient_... | Validate | 検証 | 2020/06/19 9:04:10.463 | 0.00:04:51.742 | 3 | 0.00:01:37.247 | 3 | | | | |
| DEV_ThinClient_... | Verification | 確認 | 2020/06/19 9:06:38.050 | 0.00:02:03.044 | 2 | 0.00:01:01.522 | 2 | | | | |
| | | | | 0.00:23:29.894 | 11 | 0.00:02:08.172 | 19 | 1 | 2 | | |

データをさらにドリルダウンするには、[生産性の詳細] <リソース> グリッドの行をクリックします。アクティビティ概要のキャプチャには、選択したキャプチャ アクティビティの詳細と、関連するドキュメントおよびイベントが表示されます。このレポートのデータは、手動キャプチャ アクティビティのすべてのセッションを示し、ライブ ドキュメントを含みます。ドキュメントとイベントには個別のグリッドが表示されます。

アクティビティ概要のキャプチャ

プロセス: DEV_ThinClient_Sanity_Process

アクティビティ名: Sep and Classify

アクティビティタイプ: 分割の分類

優先度: 1

リソース: TotalAgility

時間: 2020/06/19 6:41:54.030

処理時間: 0.00:00:57.000

ステータス: 完了済み

マシン名: (使用不可)

ドキュメント

| 親フォルダ ID | ドキュメント | 分離調整 | 再分類済み | 変更済みフィールド |
|---------------|--------------------------|------|-------|-----------|
| BankAppFolder | 1: BHApplication (1) | いいえ | | |
| BankAppFolder | 1: BHUtility Bill (1) | いいえ | | |
| BankAppFolder | 2: BHDrivers License (1) | いいえ | | |
| BankAppFolder | 3: BHDrivers License (1) | いいえ | | |

Excel にエクスポート 折り返し

フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 4

イベント

| ドキュメント | イベント タイプ | 古い値 | 新しい値 |
|--------------------------|----------|---------|-----------------------------|
| 1: BHUtility Bill (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |
| 2: BHDrivers License (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |
| 3: BHDrivers License (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |

Excel にエクスポート 折り返し

フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 3

[ドキュメント] グリッドまたは [イベント] グリッドで行をクリックすると、選択済みドキュメントまたはイベントのドキュメントの概要が別のウィンドウに表示されます。このウィンドウには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

ドキュメント処理時間

ドキュメント処理時間ビューを使用して、TotalAgility でドキュメントが処理を完了するまでにかかった時間を確認します。このビューには、インタラクティブ アクティビティの処理済みドキュメントが表示されます。自動アクティビティの処理済みドキュメントは表示されません。

テキスト チャートには、合計および平均の処理時間、分離、再分類、および変更済みフィールドが表示されます。TotalAgility はアクティビティの時刻を反映する一方で、Kofax Analytics for TotalAgility のドキュメントの処理時間は、修正および各ドキュメントの表示に費やされた時間を含むドキュメントの合計処理時間を反映します。たとえば、アクティビティで 3 つのドキュメントを処理した場合、ドキュメント処理時間は、3 つのドキュメントすべての処理時間の合計になります。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプ、リソース (複数選択と検索)、アクティビティ タイプでフィルタリングすることができます。

ドキュメント処理時間を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [ドキュメント処理時間] に移動します。

| ドキュメントタイプ | 処理時間 | 異なるドキュメント | 平均時間/異なるドキュメント | 処理済みドキュメント | 平均時間/処理済みドキュメント | 処理済みドキュメントのページ | 分離 | 再分類 | 変更済みフィールド | キーストローク |
|-------------------|----------------|-----------|----------------|------------|-----------------|----------------|----|-----|-----------|---------|
| Document Type 1 | 0.00:56:02.361 | 28 | 0.00:02:00.084 | 33 | 0.00:01:41.890 | 55 | | 28 | | |
| BHApplication | 0.00:15:48.041 | 2 | 0.00:07:54.021 | 4 | 0.00:03:57.010 | 13 | 1 | | | |
| BHUtility Bill | 0.00:06:47.443 | 2 | 0.00:03:23.722 | 4 | 0.00:01:41.861 | 4 | | 2 | | |
| BHDrivers License | 0.00:01:01.025 | 5 | 0.00:00:12.205 | 8 | 0.00:00:07.628 | 10 | 2 | 2 | 2 | 0 |
| Not set | 0.00:00:38.002 | 4 | 0.00:00:09.501 | 4 | 0.00:00:09.501 | 4 | 2 | | | |
| Document Type 3 | 0.00:00:13.016 | 2 | 0.00:00:06.508 | 2 | 0.00:00:06.508 | 10 | | 2 | | |
| Document Type 2 | 0.00:00:11.973 | 2 | 0.00:00:05.987 | 2 | 0.00:00:05.987 | 6 | | 2 | | |
| Northwest | 0.00:00:08.409 | 35 | 0.00:00:00.240 | 45 | 0.00:00:00.187 | 161 | | 37 | 15 | 0 |
| 合計 | 0.01:20:50.270 | 80 | 0.00:01:00.628 | 102 | 0.00:00:47.552 | 263 | 5 | 73 | 17 | 0 |

ドキュメント処理時間ビューには、ドキュメントタイプ、処理時間、異なるドキュメント、平均時間/異なるドキュメント、処理済みドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、キーストロークの詳細が表示されます。

このビューの各行は、ドキュメントタイプを表します。任意の行を展開して、リソース名と合計処理時間を表示します。ドキュメントタイプまたはリソースをクリックしてドキュメント処理の詳細にドリルダウンし、必要に応じてアクティビティ概要のキャプチャにさらにドリルダウンします。アクティビティ概要のキャプチャには、選択したキャプチャアクティビティの詳細と、関連するドキュメントおよびイベントが一覧表示されます。

処理の詳細ポップアップ

[ドキュメント処理時間] グリッドの行をクリックして、処理の詳細 <ドキュメントタイプ> ポップアップに集計されたデータの詳細を表示します。ドキュメントタイプの行を展開してリソース名をクリックすると、処理の詳細 <リソース、ドキュメントタイプ> ポップアップが表示されます。

ポップアップには、プロセス、アクティビティタイプ、リソース、時間、処理時間、処理済みドキュメント、平均時間/処理済みドキュメント、処理済みドキュメントのページ、分離、再分類、変更済みフィールド、キーストロークの詳細が表示されます。

| プロセス | アクティビティタイプ | リソース | 時間 | 処理時間 | 処理済みドキュメント | 平均時間/処理済みドキュメント | 処理済みドキュメントのページ | 分離 | 再分類 | フィールド | 変更済みフィールド | キーストローク |
|----------------------|------------|-------|------------------------|-------------|------------|-----------------|----------------|----|-----|-------|-----------|---------|
| Capture Starter Pack | スキャン | admin | 2020/06/12 3:02:44.963 | 0.00:00:... | 2 | 0.00:00:00.000 | 5 | 2 | 10 | 2 | 0 | |
| Capture Starter Pack | ドキュメントレビュー | admin | 2020/06/12 3:11:38.613 | 0.00:00:... | 2 | 0.00:00:00.000 | 5 | 2 | 10 | | | |
| Capture Starter Pack | 検証 | admin | 2020/06/12 3:15:00.720 | 0.00:00:... | 2 | 0.00:00:00.000 | 5 | 10 | 2 | 0 | | |
| Capture Starter Pack | 確認 | admin | 2020/06/12 3:19:50.827 | 0.00:00:... | 1 | 0.00:00:00.000 | 4 | 5 | 1 | 0 | | |
| (使用不可) | スキャン | admin | 2020/06/12 3:40:36.447 | 0.00:00:... | 1 | 0.00:00:07.628 | 3 | 1 | 5 | 1 | 0 | |
| Capture Starter Pack | ドキュメントレビュー | admin | 2020/06/12 8:54:19.370 | 0.00:00:... | 1 | 0.00:00:00.000 | 0 | 1 | 5 | | | |
| Capture Starter Pack | ドキュメントレビュー | admin | 2020/06/12 8:54:47.553 | 0.00:00:... | 1 | 0.00:00:00.000 | 0 | 1 | 5 | | | |

さらにデータをドリルダウンするには、[処理の詳細] ウィンドウの行をクリックします。アクティビティ概要のキャプチャが別のウィンドウに表示され、選択したキャプチャアクティビティの詳細と、関連するドキュメントおよびイベントが一覧表示されます。ドキュメントとイベントには個別のグリッドが表示されます。

アクティビティ概要のキャプチャ

プロセス DEV_ThinClient_Sanity_Process

アクティビティ名 Sep and Classify

アクティビティタイプ 分類の分類

優先度 1

リソース TotalAgility

時間 2020/06/19 8:41:54.030

処理時間 0:00:00:57.000

ステータス 完了済み

マシン名 (使用不可)

ドキュメント

| 親フォルダ ID | ドキュメント | 分離調整 | 再分類済み | 変更済みフィールド |
|---------------|--------------------------|------|-------|-----------|
| BankAppFolder | 1: BHApplication (1) | | いいえ | |
| BankAppFolder | 1: BHUtility Bill (1) | | いいえ | |
| BankAppFolder | 2: BHDrivers License (1) | | いいえ | |
| BankAppFolder | 3: BHDrivers License (1) | | いいえ | |

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 4

イベント

| ドキュメント | イベント タイプ | 古い値 | 新しい値 |
|--------------------------|----------|---------|-----------------------------|
| 1: BHUtility Bill (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |
| 2: BHDrivers License (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |
| 3: BHDrivers License (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |

[ドキュメント] グリッドまたは [イベント] グリッドで、行を選択して、選択済みドキュメントまたはイベントのドキュメントの概要を表示します。ドキュメントの概要ポップアップには、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

[ドキュメントの概要] ウィンドウ

[ドキュメントの概要] には、特定のドキュメントの監査証跡が表示されるため、TotalAgility のドキュメントに加えられた変更を簡単に確認できます。[ドキュメントの概要] ウィンドウには、一度に 1 つのドキュメントの概要のみが表示されます。後続のアクティビティ概要から別のドキュメントを選択した場合、そのドキュメントにはデータが含まれません。

[ドキュメントの概要] ウィンドウの情報は、次のタブの下にグループ化されています。

| タブ | 情報 |
|-----------------|---|
| 【全般】 | <p>このタブには、次の情報が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • カテゴリ • ドキュメント タイプ • 分類グループ • 抽出グループ • ページ数 • システム分類済み • 分類済みドキュメント タイプ • 分類済み信頼度 • 高信頼度で分類済み • 処理時間 • 分離調整数 • 再分類済み • 変更済みフィールド • キャプチャ完了 (日時) • 完全なフォルダ ID • ドキュメント ID • リポジトリ ドキュメント ID |
| 【アクティビティのキャプチャ】 | <p>このタブには 2 つのグリッドが表示されます。</p> <p>上部のグリッドには、次の詳細を含む、ドキュメントを処理したアクティビティのキャプチャ リストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロセス名 • アクティビティ • アクティビティ タイプ • 時間 • 処理時間 <p>上部のグリッドでアクティビティを選択すると、下部のグリッドには選択したアクティビティのアクティビティ セッションが表示されます。これには次の詳細が含まれます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • プロセス名 • アクティビティ • アクティビティ タイプ • リソース • 時間 • 処理時間 (合計経過時間) <p>[アクティビティ セッション] グリッドでセッションを選択すると、選択したキャプチャ アクティビティ (セッション) の詳細、関連するドキュメント、およびイベントが アクティビティ概要のキャプチャ に表示されます。</p> |

| タブ | 情報 |
|--------------|--|
| 【イベントのキャプチャ】 | <p>このタブには、分類、分離、フィールド変更、削除、拒否、およびキャプチャ完了ドキュメントに関連するイベントが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • アクティビティ開始時間、日付 • イベント タイプ • アクティビティ タイプ • アクティビティ名 • リソース • 古い値 • 新しい値 <p>グリッドでアクティビティ (セッション) を選択すると、詳細および関連するドキュメントとイベントがアクティビティ概要のキャプチャに表示されます。</p> |
| 【フィールド変更】 | <p>このタブには、次の詳細を含む、変更済みフィールドのリストが表示されません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 時間 • フィールド名 • 古い値 • 新しい値 • リソース • アクティビティ名 |
| 【フィールド値】 | <p>このタブには、次の詳細を含む、フィールド名でソートされたすべてのドキュメント フィールドのリストが表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • フィールド名 • テーブル名 • 行 • 値 |

アクティビティ概要のキャプチャ

Kofax Analytics for TotalAgility の [アクティビティ概要のキャプチャ] には、特定のアクティビティ (セッション) の詳細が表示されます。これにより、TotalAgility で発生したイベント、どのリソースがどのアクティビティに関連付けられているか、イベントがいつ、どのワークステーションから発生したかを簡単に確認できます。[アクティビティ概要のキャプチャ] には特定のジョブで処理されたすべてのドキュメントが表示されますが、ドキュメントの概要は選択したドキュメントについてのみ表示されます。後続のアクティビティ概要から別のドキュメントを選択した場合、そのドキュメントにはデータが含まれません。

アクティビティ概要のキャプチャ

| | |
|------------|-------------------------------|
| プロセス | DEV_ThinClient_Sanity_Process |
| アクティビティ名 | Sep and Classify |
| アクティビティタイプ | 分割の分類 |
| 優先度 | 1 |
| リソース | TotalAgility |
| 時間 | 2020/06/19 8:41:54.030 |
| 処理時間 | 0:00:00:57.000 |
| ステータス | 完了済み |
| マシン名 | (使用不可) |

ドキュメント

| 親フォルダ ID | ドキュメント | 分離調整 | 再分類済み | 変更済みフィールド |
|---------------|--------------------------|------|-------|-----------|
| BankAppFolder | 1: BHApplication (1) | | いいえ | |
| BankAppFolder | 1: BHUtility Bill (1) | | いいえ | |
| BankAppFolder | 2: BHDrivers License (1) | | いいえ | |
| BankAppFolder | 3: BHDrivers License (1) | | いいえ | |

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 4

イベント

| ドキュメント | イベント タイプ | 古い値 | 新しい値 |
|--------------------------|----------|---------|-----------------------------|
| 1: BHUtility Bill (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |
| 2: BHDrivers License (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |
| 3: BHDrivers License (1) | システム分類済み | Not set | Not set (0.00%) Unconfident |

Excel にエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 3

アクティビティ セッションを選択すると、[アクティビティ概要のキャプチャ]の別のウィンドウに次の情報が一覧表示されます。

- プロセス
- アクティビティ名
- アクティビティ タイプ
- 優先度
- リソース
- 時間
- 処理時間
- ステータス
- マシン名 (通常は TotalAgility サーバーですが、スキャンの場合はスキャンステーションとなります)

ドキュメントとイベントには個別のグリッドが表示されます。アクティビティでドキュメントを処理すると、アクティビティによって処理されたドキュメントのリストがドキュメントグリッドに表示されます。ドキュメントグリッドには、親フォルダ ID、ドキュメント名、分離調整、再分類、フィールド変更の数ごとに各ドキュメントがリストされます。

[ドキュメント]グリッドまたは[イベント]グリッドで行をクリックすると、選択済みドキュメントまたはイベントのドキュメントの概要が表示されます。[ドキュメントの概要](#)には、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

手入力なしで処理

[手入力なしで処理]ビューを使用して、処理済みドキュメントの総数に対する、手動修正なしで処理された項目の比率を調べます。[手入力なしで処理]ビューではドキュメントの詳細を確認できるため、グラフ内の情報を検証できます。

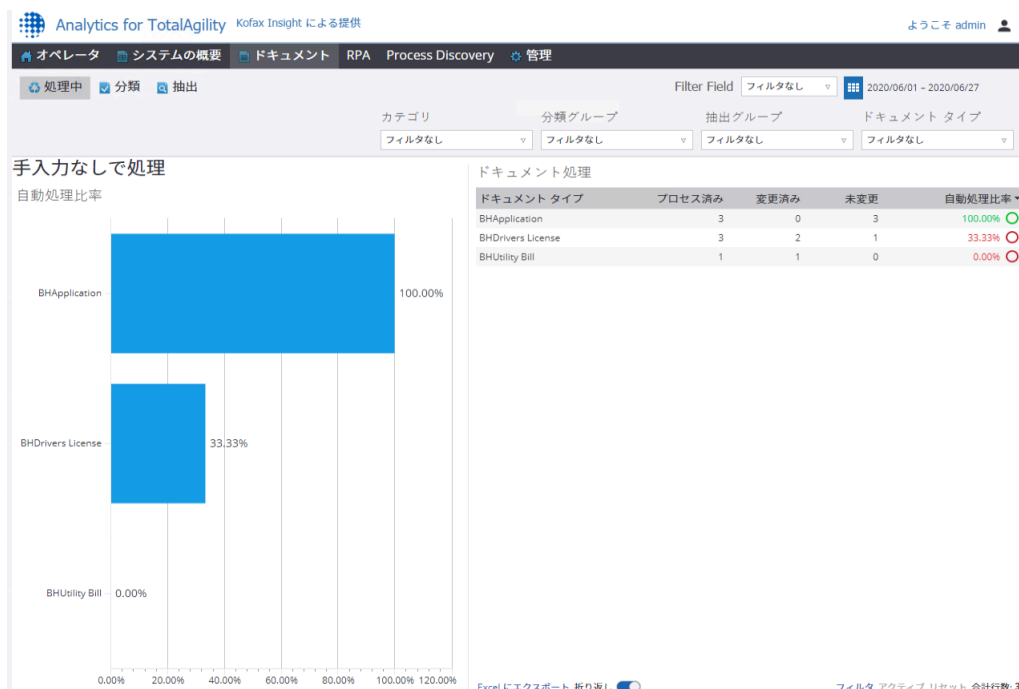
このビューには、手動アクティビティのリソースが変更なしでキャプチャ処理を完了したドキュメント数を示すグラフが表示されます。データは完了したドキュメントに基づいており、完了日でフィルタリングされ、ドキュメントタイプ別にグループ化されています。

キャプチャ処理を完了する前に、手動アクティビティのドキュメントで次のいずれかが発生した場合は、手入力が行われたと見なされます。

- 分離 (分割済み、マージ済み、ページ移動)
- 再分類済み
- フィールドの変更

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメントタイプでフィルタリングすることができます。

キャプチャ処理を完了したドキュメントの数を表示するには、[ドキュメント] > [処理中] > [手入力なしで処理] を選択します。



[ドキュメント処理] グリッドの行をクリックして、[自動処理の詳細 <ドキュメントタイプ>] ウィンドウを表示します。

自動処理の詳細

[ドキュメント処理] グリッドの行をクリックすると、選択したドキュメントの詳細が [自動処理の詳細 <ドキュメントタイプ>] ウィンドウに表示されます。これには、時間、親フォルダ、ドキュメント、分離調整、再分類、変更済みフィールド、キーストロック、ドキュメント処理時間、変更などが含まれます。

自動処理の詳細 - Document Type 1 □ ✕

| 時間 | ▼ 親フォルダ | ドキュメント | 分離調整 | 再分類済み | 変更済みフィールド | キーストローク | ドキュメント処理時間 | 変更済み |
|------------------------|---------------------|------------------------|------|-------|-----------|---------|----------------|------|
| 2020/06/12 9:24:07.990 | Default Folder Type | 1: Document Type 1 (0) | 0 | はい | 0 | 0 | 0.00:00:00.571 | はい |
| 2020/06/12 9:19:42.990 | Default Folder Type | 1: Document Type 1 (0) | 0 | はい | 0 | 0 | 0.00:00:00.517 | はい |
| 2020/06/12 9:18:33.990 | Default Folder Type | 1: Document Type 1 (0) | 0 | はい | 0 | 0 | 0.00:00:00.938 | はい |
| 2020/06/12 3:00:10.990 | Default Folder Type | 1: Document Type 1 (1) | 0 | はい | 0 | 0 | 0.00:00:00.483 | はい |
| 2020/06/12 2:52:55.990 | Default Folder Type | 1: Document Type 1 (4) | 0 | はい | 0 | 0 | 0.00:00:00.091 | はい |

データをさらにドリルダウンするには、[自動処理の詳細 <ドキュメント タイプ>] ウィンドウで、行をクリックして **ドキュメントの概要** を表示します。これには、[全般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が含まれます。

分類

[分類] サブメニューを使用して、さまざまなドキュメント タイプ、処理信頼度、再分類済みドキュメントに関連するビューにアクセスします。

このビューには、ドキュメント タイプと信頼度による分類済みドキュメントの総数と参加したアクティビティを実行したリソースによる再分類を比較することで、完了済みドキュメントがどの程度適切に分類されているかが表示されます。[分類] ビューには、完了済みドキュメントのデータのみが表示され、削除、タイムアウト、または進行中のドキュメントに関連するデータは除外されます。

このサブメニューには、次のビューが含まれます。

- [分類統計](#)
- [分類チャート](#)
- [分類ベンチマーク](#)
- [ページ分類の詳細](#)

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

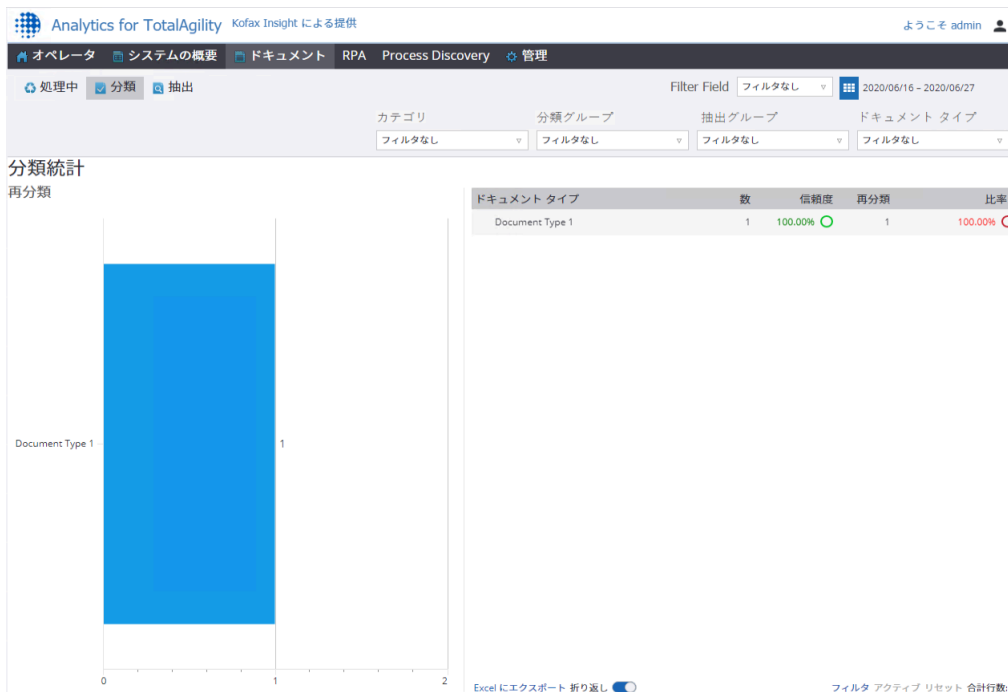
分類統計

[分類統計] ビューを使用して、再分類の回数、信頼度、数などといったドキュメントの変更率を確認します。

このビューには、次の時間単位の実行プランが実行された後に、最終的なドキュメント タイプの再分類済みドキュメントを含む水平棒グラフと、最終ドキュメント タイプを含むテキスト チャート (TotalAgility でアクティビティのキャプチャを完了するドキュメント) が表示されます。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、ドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

分類統計を表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [統計] に移動します。



日付フィルタを変更すると、キャプチャの完了日に基づいて分類ビューのデータが更新されます。棒グラフをクリックして、初期ドキュメントタイプとドキュメントを再分類したリソース別にデータをドリルダウンします。

テキストチャートグリッドの行をクリックすると、[再分類済みドキュメント <ドキュメントタイプ>]が別のウィンドウで表示されます。このウィンドウには2つのグリッドがあります。上部のグリッドには、選択済みドキュメントタイプの再分類済みドキュメントに関連する次の詳細が表示されます：分類時間、ドキュメント、信頼度、再分類済みドキュメント、および比率。

| 分類時間 | ドキュメント | 信頼度 | 再分類済みドキュメント | 比率 |
|------------------------|--------|--------|-------------|-------|
| 2020/06/05 1:58:32.790 | 1 | 92.19% | 0 | 0.00% |
| 2020/06/05 1:43:45.773 | 1 | 92.19% | 0 | 0.00% |
| 2020/06/05 0:16:25.640 | 1 | 92.19% | 0 | 0.00% |

Excelにエクスポート 折り返し (toggle) フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 3

| 親フォルダ | ドキュメント | 初期タイプ | 信頼度 | 最終タイプ | 分割 | 再分類済み | リソース |
|-------|--------|-------|-----|-------|----|-------|------|
|-------|--------|-------|-----|-------|----|-------|------|

上部グリッドの行をクリックすると、選択された再分類済みドキュメントの下部グリッドに、[親フォルダ]、[ドキュメント]、[初期タイプ]、[信頼度]、[最終タイプ]、[分割]、[再分類]、および [リソース] という詳細が表示されます。

再分類済みドキュメント - BHDrivers License

| 分類時間 | ドキュメント | 信頼度 | 再分類済みドキュメント | 比率 |
|------------------------|--------|--------|-------------|--------|
| 2020/06/05 1:58:32.790 | 1 | 96.94% | 0 | 0.00% |
| 2020/06/05 1:43:45.773 | 2 | 94.57% | 1 | 50.00% |

Excel にエクスポート 折り返し

フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 2

| 親フォルダ | ドキュメント | 初期タイプ | 信頼度 | 最終タイプ | 分割 | 再分類済み | リソース |
|---------------|--------------------------|-------------------|--------|-------------------|-----|-------|---------------|
| BankAppFolder | 2: BHDrivers License (1) | BHDrivers License | 96.94% | BHDrivers License | No | No | TotalAgility |
| BankAppFolder | 3: BHDrivers License (2) | BHApplication | 92.19% | BHDrivers License | Yes | Yes | Administrator |

Excel にエクスポート 折り返し

フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 2

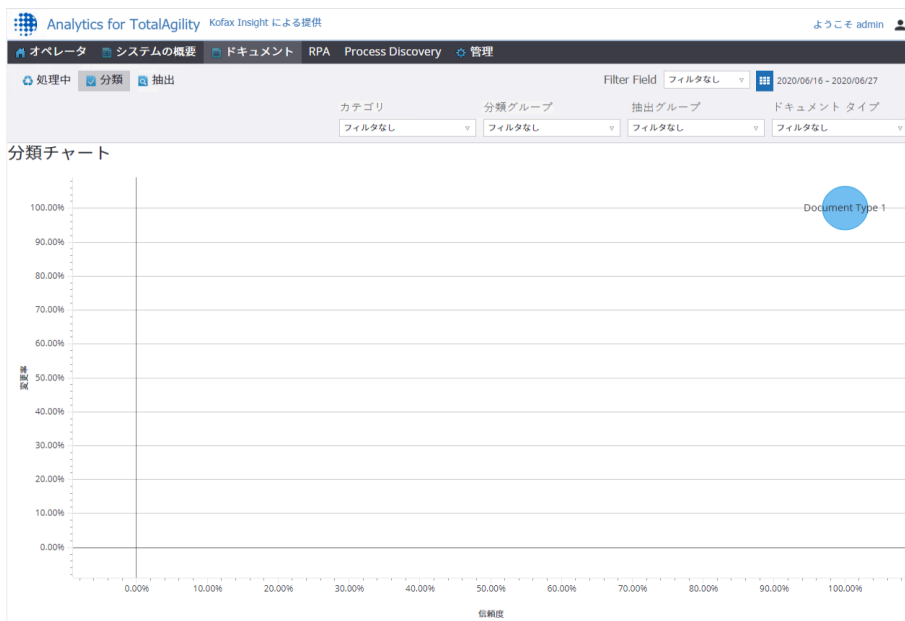
下のグリッドの行をクリックすると、**ドキュメントの概要**に、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

分類チャート

[分類チャート] ビューを使用して、ドキュメント タイプの変更率と信頼度を分析します。

このビューには、ドキュメント タイプごとに処理されたドキュメントの数 (バブルのサイズ) に対する分類信頼度と変更率 (手動アクティビティ) を含む Bubble chart が表示されます。このビューのドキュメント タイプは、最終的なドキュメント タイプを表します。

分類チャートを表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [チャート] に移動します。



凡例のドキュメント タイプをクリックすると、選択したドキュメント タイプがチャートから除外されてチャートが動的に更新され、選択したドキュメント タイプは凡例でグレー表示されます。

チャートのドキュメント タイプ (バブル) をクリックして、初期ドキュメント タイプとリソース別にデータをさらにドリルダウンします。

分類ベンチマーク

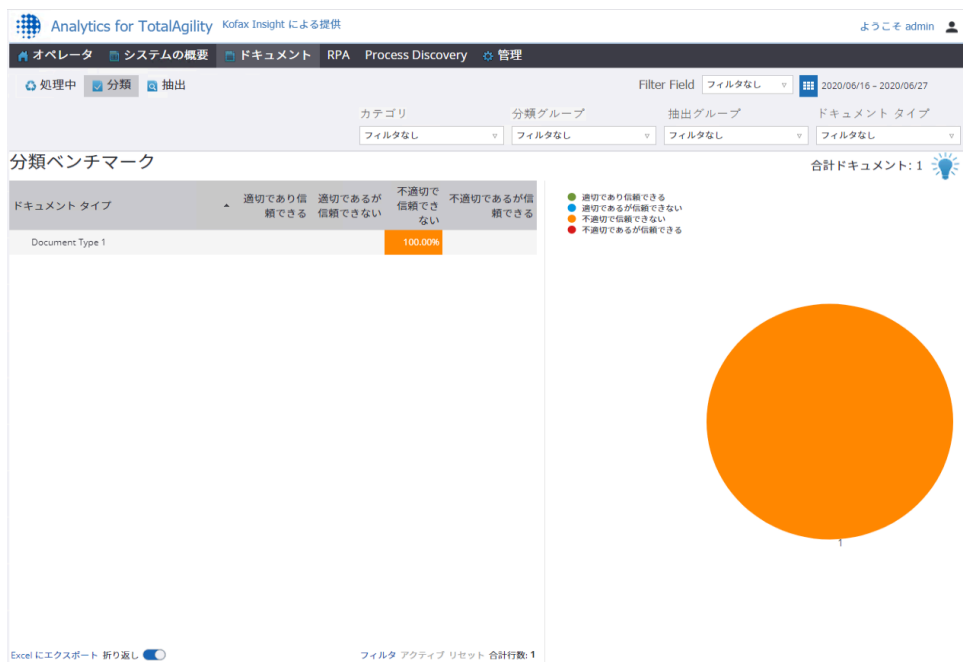
[分類ベンチマーク] ビューを使用して、ドキュメント タイプに基づいて分類の全体的な精度を調べます。

このビューに基づいて、システムによって正確に分類されたドキュメント タイプの数と、オペレータによる手動アクティビティで修正が必要とされたドキュメント タイプの数を判断できます。

ドキュメント タイプの分類ベンチマークを表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [ベンチマーク] に移動します。

このビューには、分類精度のテキスト チャートが示され、ドキュメント タイプ順に分類され、パーセントで表された円グラフとして表示されます。[分類統計] グリッドでドキュメント タイプをクリックすると、円グラフが更新され、選択済みドキュメント タイプの分類の詳細が表示されます。


ビューに表示されるドキュメントの総数は、円グラフの上に表示されます。



| 精度 | 説明 |
|------------------|---|
| 正確であり信頼できる (緑) | ドキュメントは TotalAgility システムによって「正確であり信頼できる」として分類され、変更または修正なしで完了します。 |
| 正確であるが信頼できない (青) | ドキュメントは TotalAgility システムによって「正確であるが信頼できない」として分類され、変更または修正なしで完了します。 |

| 精度 | 説明 |
|-------------------|---|
| 不正確で信頼できない (オレンジ) | ドキュメントは TotalAgility システムによって「不正確で信頼できない」として分類され、後でリソースによって手動アクティビティで再分類されます。 |
| 不正確であるが信頼できる (赤) | ドキュメントは TotalAgility システムによって「不正確であるが信頼できる」として分類され、後でリソースによって手動アクティビティで再分類されます。 |

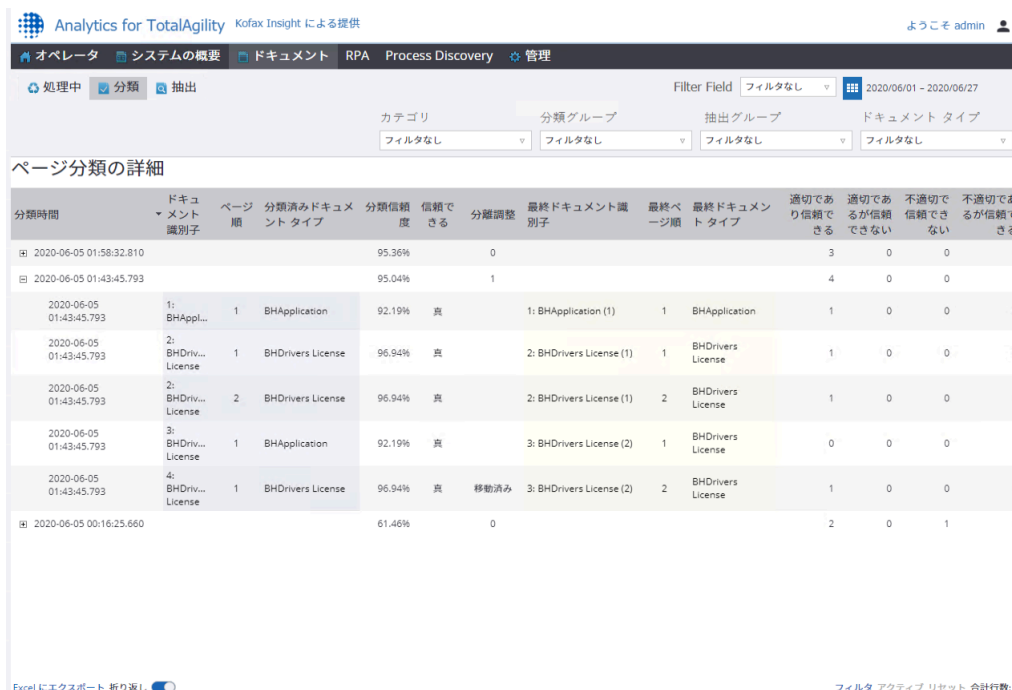
[分類ベンチマーク] グリッドでドキュメント タイプをクリックすると、選択済みドキュメント タイプの詳細で円グラフが更新されます。円グラフのセグメントをクリックして、カテゴリ、ドキュメント タイプ、初期ドキュメント タイプ、およびリソース別にデータをドリルダウンします。

注  をクリックすると、[分類ベンチマーク] ビューに表示されるドキュメント タイプの 4 つの組み合わせに関する説明が記載された [分類ベンチマークのヘルプ] ポップアップが表示されます。

ページ分類の詳細

ページ分類の詳細ビューを使用して、分類のページ レベルの詳細を確認し、TotalAgility システムがドキュメントをどのように分類および分割するかをより理解できます。

ドキュメント タイプのページ分類の詳細を表示するには、[ドキュメント] > [分類] > [ページ分類の詳細] に移動します。



TotalAgility で分類された完了済みのドキュメントについては、このビューに次のページ レベルの詳細が表示されます。

- 分類アクティビティ完了日時でグループ化

- 分類アクティビティ日付、ドキュメント順、ページ順で並べ替え
- 分類済みドキュメント タイプ
- 分類信頼度 (%)
- 信頼できる (プール値)
- 最終ドキュメント タイプ
- 正確であり信頼できる、正確であるが信頼できない、不正確で信頼できない、不正確であるが信頼できるの数
- 分離調整: 分割済み/マージ/ページ移動済み

ドキュメントでの分類およびエクスポートが完了すると、ページ分類の詳細ビューでは、分類アクティビティが完了した日時によってレコード グリッド内のドキュメントがグループ化されます。

日付フィルタを変更すると、ページ分類の詳細ビューのデータがキャプチャ完了日に基づいて更新されます。

[ページ分類の詳細] グリッドで、グループ化された行を展開して、ドキュメントの各ページの個別の行を表示できます。行をクリックすると、[ドキュメントの概要](#)ポップアップに[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

抽出

[抽出] サブメニューを使用して、TotalAgility で完了したドキュメントからデータがどの程度適切に抽出されるかを詳細に示すビューにアクセスできます。グラフィカル ビューには、TotalAgility で実行された抽出が表示され、プロセス マップ/抽出グループを特定して改善するために役立ちます。Kofax Analytics for TotalAgility のダッシュボードの日付範囲を変更すると、抽出ビューには、キャプチャの完了日に基づいてデータが反映されます。

このサブメニューには、次のビューが含まれます。

- [抽出統計](#)
- [抽出チャート](#)
- [抽出ベンチマーク](#)

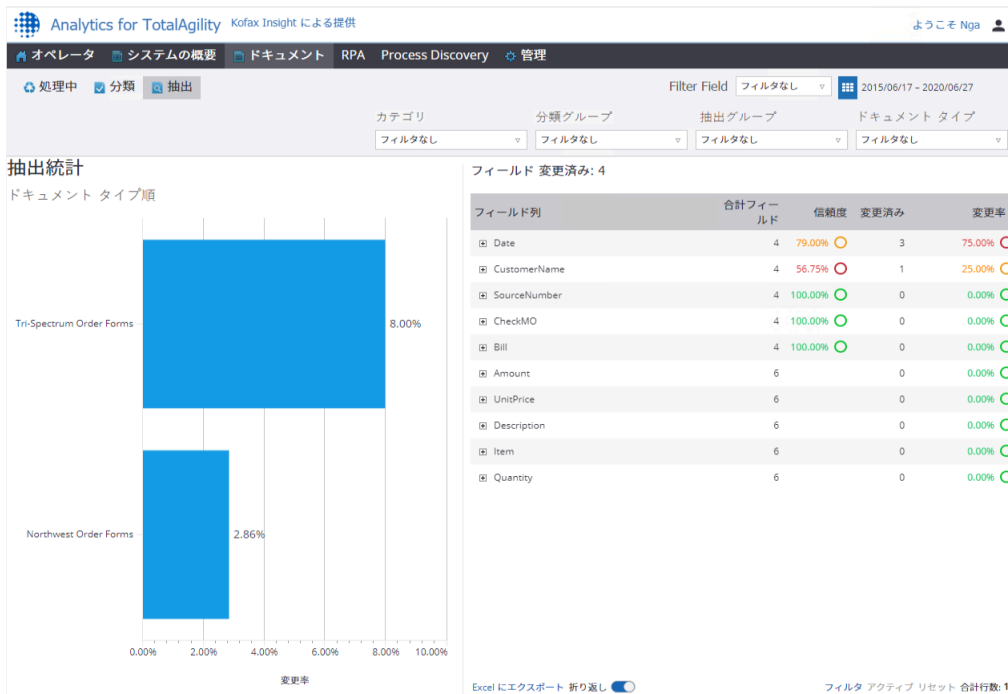
それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

抽出統計

[抽出統計] ビューには、選択したドキュメント タイプのすべてのフィールドのリストが表示されます。TotalAgility でフィールドが抽出されると、抽出統計メトリック グリッドに抽出済みフィールドが列としてリストされます。変化率棒グラフを表示すると、ラベルには個別のドキュメント タイプが反映されます。

それぞれのデータは、カテゴリ、分類グループ、抽出グループ、およびドキュメント タイプでフィルタリングすることができます。

抽出統計を表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [統計] に移動します。



棒グラフでドキュメント タイプをクリックすると、選択済みドキュメント タイプに関連付けられているフィールドレベルのデータ変更率など、フィールドの変更回数とフィールド統計が表示されます。メトリックグリッドのフィールド名を展開して、関連する抽出グループとドキュメントタイプを表示できます。

フィールド統計については、次の表を参照してください。

| フィールド統計列 | 説明 |
|----------|---|
| フィールド名 | フィールドの名前。 |
| 合計フィールド | 日付、バッチクラス、サイト、ドキュメントタイプなど、現在選択されているフィルタに基づいて、エクスポートされたすべてのドキュメント内の、指定された名前を持つすべてのフィールドの数。 |
| 信頼度 | 日付、バッチクラス、サイト、ドキュメントタイプなど、現在選択されているフィルタに基づく、エクスポートされたすべてのドキュメントの平均フィールド抽出信頼度値。 |
| 変更済み | 現在選択されているフィルタ(日付、バッチクラス、サイト、ドキュメントタイプなど)に基づいて、エクスポートされたすべてのドキュメントのうち、手動で変更された特定の名前を持つすべてのフィールドの数。 |
| 変更率 | 変更済み列と合計フィールド列の比率。 |

[変更済みフィールド]グリッドでフィールド名をクリックすると、変更済みフィールドの詳細: <フィールド名> ウィンドウに選択したフィールドの詳細が表示されるので、集計データを検証できます。たとえば、グリッドの CustomerName 行をクリックすると、変更済みフィールドの詳細: CustomerName ウィンドウに、変更済みフィールドの詳細が表示されます。

このウィンドウには2つのグリッドがあります。上部グリッドには、フィールドが変更されたドキュメントを含むアクティビティのリストが表示されます。詳細には、プロセス、アクティビティタイプ、アクティビティ名、アクティビティ終了日時、および変更済みフィールドが含まれます。

変更済みフィールドの詳細: FirstName □ ✕

| プロセス | アクティビティタイプ | アクティビティ名 | アクティビティの終了日時 | 変更済みフィールド |
|-------------------------------|------------|--------------|-------------------------|-----------|
| DEV_ThinClient_Sanity_Process | 確認 | Verification | 2020/06/25 13:13:29.253 | 1 |
| DEV_ThinClient_Sanity_Process | 検証 | Validate | 2020/06/25 13:13:00.377 | 1 |

Excelにエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 2

| 親フォルダ | ドキュメント識別子 | フィールド名 | テーブル名 | 行 | 信頼度 | 古い値 | 新しい値 |
|---------------|----------------------|-----------|-------|---|-----|-------|-------------|
| BankAppFolder | 1: BHApplication (1) | FirstName | | | 96% | LAURA | LAURA123344 |

アクティビティをクリックすると、下部のグリッドに、選択したアクティビティの該当フィールドに加えられたすべての変更が表示されます。詳細には、親フォルダ、ドキュメント識別子、フィールド名、テーブル名、行、OCR信頼度、古い値、および新しい値が含まれます。

変更済みフィールドの詳細: FirstName □ ✕

| プロセス | アクティビティタイプ | アクティビティ名 | アクティビティの終了日時 | 変更済みフィールド |
|-------------------------------|------------|--------------|-------------------------|-----------|
| DEV_ThinClient_Sanity_Process | 確認 | Verification | 2020/06/25 13:13:29.253 | 1 |
| DEV_ThinClient_Sanity_Process | 検証 | Validate | 2020/06/25 13:13:00.377 | 1 |

Excelにエクスポート 折り返し フィルタ アクティブ リセット 合計行数: 2

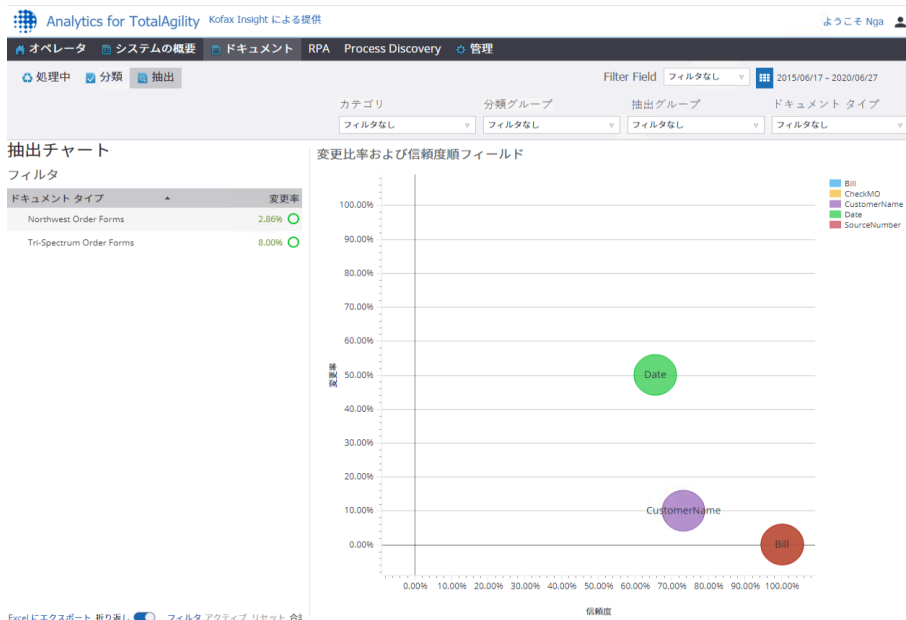
| 親フォルダ | ドキュメント識別子 | フィールド名 | テーブル名 | 行 | 信頼度 | 古い値 | 新しい値 |
|---------------|-----------------------|-----------|-------|---|-----|---------|------|
| BankAppFolder | 3: BHUtility Bill (2) | FirstName | | | 0% | Not set | AAAA |

下のグリッドの行をクリックすると、ドキュメントの概要ウィンドウに、[一般]、[アクティビティのキャプチャ]、[イベントのキャプチャ]、[フィールド変更]、および [フィールド値] タブにグループ化された情報が一覧表示されます。

抽出チャート

[抽出チャート] ビューには、ドキュメントタイプと変更率をリストするテキストチャートと、各ドキュメントタイプで変更されたフィールドの割合を示す Bubble chart が表示されます。

ドキュメントタイプの変化率を表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [チャート] に移動します。



- ・ Y 軸は変化率を示します
- ・ X 軸はフィールドの信頼度を示します
- ・ バブルのサイズは、変更済みフィールドの数を示します

日付フィルタを使用して、キャプチャ完了日に基づいてダッシュボードにデータを表示します。

[抽出チャート]グリッドでドキュメントタイプを選択すると、選択済みドキュメントタイプの OCR 信頼度と変更率に基づいて Bubble chart が更新されます。

抽出ベンチマーク

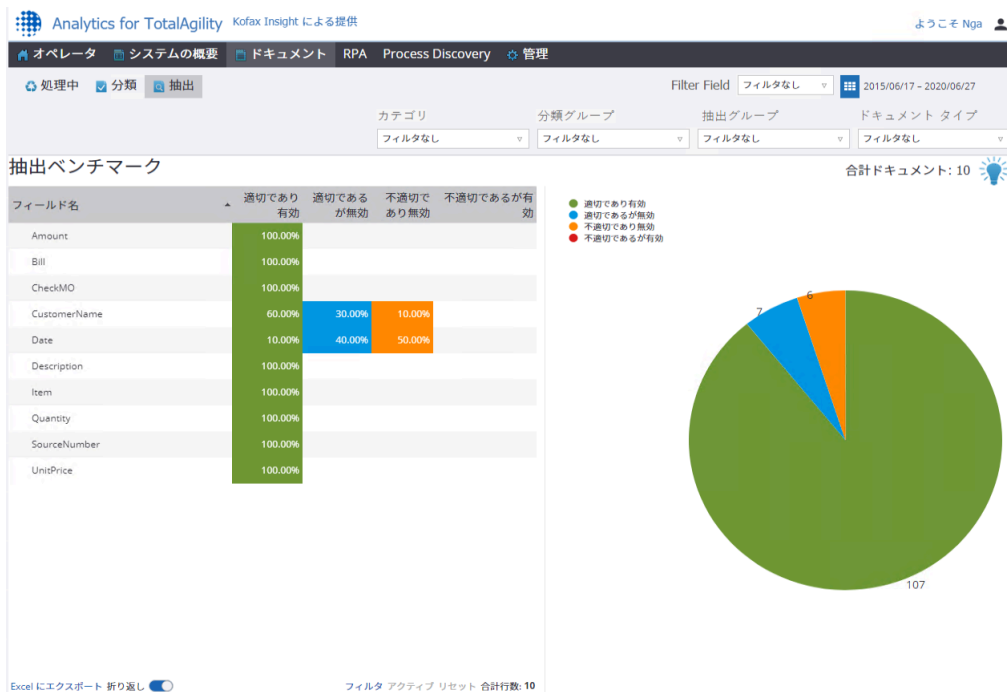
[抽出ベンチマーク]ビューを通じて、TotalAgility がユーザー エクスペリエンスを考慮しながらデータをどの程度適切に抽出しているかを理解できます。これには、手動アクティビティによる無効なフィールドの修正や確認が含まれます。

抽出ベンチマークを表示するには、[ドキュメント] > [抽出] > [ベンチマーク] に移動します。


このビューには、フィールド名を含むテキスト チャートと、選択済みフィールド名に関する詳細を示す円グラフが表示されます。

次の色は、フィールドが有効か無効かを表します。

- ・ 緑: TotalAgility で抽出されたフィールドが有効で、変更や修正なしで完了した場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「正確であり有効」として反映されます。
- ・ 青: TotalAgility で抽出したフィールドが無効であり、変更や修正なしで完了した場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「正確であるが無効」として反映されます。
- ・ オレンジ: TotalAgility で抽出したフィールドが無効であり、手動アクティビティで変更された場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「不正確であり無効」として反映されます。
- ・ 赤: TotalAgility で抽出されたフィールドが有効であり、手動アクティビティで変更された場合、そのフィールド名は [抽出ベンチマーク] ビューに「不正確であるが有効」として反映されます。



[抽出ベンチマーク] グリッドでフィールド名をクリックすると、選択済みフィールドの詳細で円グラフが更新されます。円グラフのセグメントをクリックして、ドキュメントタイプ、およびドキュメントを再分類したリソース別に、データをドリルダウンします。

注  をクリックすると、[抽出ベンチマーク] ビューに表示されるフィールド名の4つの色の組み合わせに関する説明が表示されます。

管理

管理メニューには、次のビューが含まれます。

- データ保持
- フィルタ フィールド

データ保持

データ保持ビューを使用して、フィールドレコードの保持ポリシーを定義します。これにより、ストレージ要件を管理して、データの整合性を損なうことなく時間の経過とともにパフォーマンスを向上させることができます。

レコードの保持期間を指定するには、[管理] > [データ保持] に移動します。

「最大保持日数 (最小値は 1)」フィールドにレコードを保持する日数を指定し、キーボードの Enter キーを押します。X 日より古いフィールドレコードが削除されると、X 日より古いキャプチャ完了済みドキュメントのすべてのフィールドレコードが削除されます。

「最大保持日数 (最小値は 1)」フィールドにレコードの保持ポリシーを指定し、キーボードの Enter キーを押します。これは「保持ポリシーごとにフィールド データを削除」実行プランの動作を制御します。キャプチャが完了して保持ポリシーで指定した日数を過ぎているフィールドに対してのみ、指定された「開始日」より古いフィールドがプランによって自動的に削除されます。「終了日」は無視されます。ライブ ドキュメントのフィールド レコードは削除されません。

フィールド データ レコードの数は急速に増加することがあります。そのため、[Field Fact] テーブルのサイズの定期的な監視と、必要なフィールドのみが送信されるように Kofax TotalAgility Designer の各ドキュメント タイプで「Include in Analytics (分析に含める)」の設定を更新することをデータベース管理者に依頼する必要があります。

管理者は、Insight Data Loader から古いフィールド レコードを手動で削除できます。

フィルタ フィールド

Kofax Analytics for TotalAgility のすべてのキャプチャ ビューのフィルタリングに使用できる特別なフィルタ フィールドを指定できます。これは、フィールド値によって、フィールド名だけでなくキャプチャ処理ビューを分析するために役立ちます。

[フィルタのフィールド] オプションは、管理者ロールのメンバーのみが使用できます。フィルタ フィールドを指定すると、そのフィールドのすべての入力済みデータが Kofax Analytics for TotalAgility ビューでフィルタとして使用できます。フィールド フィルタを使用してビューをフィルタリングすると、ビューには、フィルタリングされたフィールドと一致するドキュメントの統計が反映されます。

フィルタ フィールドを指定するには、[管理] > [フィルタ フィールド] に移動します。



[フィールドの選択] リストでフィールドを選択し、[フィールドの保存] をクリックします。これによって「ドキュメント フィールドのフィルタ セットアップ」プランが実行されて可能な値が入力されますが、実行に時間がかかることがあります。プランを実行すると、キャプチャ ビューのフィルタは、ブラウザを更新した場合にのみ更新されます。「Hourly plan (毎時プラン)」がドキュメントをロードしたときに設定されたフィールドでのみドキュメントをフィルタリングできます。

保存されたフィルタ フィールド名は、すべてのキャプチャ ビューに表示されます。保存されたフィルタ フィールドは、新しくロードされたデータだけに適用できます。たとえば、「Region」というフィールド名を選択すると、キャプチャ ビューに Region フィルタが表示され、特定の地域に基づいてデータをフィルタできるようになります。

第 4 章

レコードの定義

このセクションには、Kofax Analytics for TotalAgility ビューで使用可能なレコードがリストされています。

アクティビティ レコード

アクティビティ レコードは、次のレコードの組み合わせです。

- Activity1 - ソース テーブル = LIVE_ACTIVITY、ソース データベース = TotalAgility
- Activity2 - ソース テーブル = FINISHED_JOB_HISTORY、ソース データベース = TotalAgilityFinished
- Activity3 - ソース テーブル = JOB_HISTORY、ソース データベース = TotalAgility

注 Activity1、Activity2、およびActivity3 のレコードは一時的なユーティリティ テーブルであり、コンテンツは 1 時間ごとのデータ ロードによって完全に更新されるため、カスタム レコード/メトリックのデータソースとして使用しないでください。

Activity1 のレコードには、次のフィールドが格納されます。

| Activity1 レコード | LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列 |
|------------------------------|--|
| EMBEDDED_PROCESS_COUNT | EMBEDDED_PROCESS_COUNT |
| NODE_ID | NODE_ID |
| ACTIVITY_STATUS | Activity1 の場合、ステータスは ACTIVITY_STATUS から設定され、Activity2 および Activity3 の場合、ステータスは -1 です。 |
| AUTOMATIC | AUTOMATIC |
| DUE_DATE | DUE_DATE |
| COMPLETED_DATE | Activity1 の場合、このレコードの値はヌルであり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は SET_TIME から設定されます。 |
| EXPECTED_COST | EXPECTED_COST |
| EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS | Activity1 の想定期間は EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS 列から設定され、Activity2 の想定期間は TARGET_TIME_IN_SECONDS 列から設定されます。 |
| NODE_NAME | NODE_NAME |
| PRIORITY | Activity1 の優先度は PRIORITY 列から設定され、Activity2 とActivity3 の値は 1 です。 |

| Activity1 レコード | LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列 |
|---------------------------|---|
| PROCESS_NAME | PROCESS_NAME |
| SLA_STATUS | <ul style="list-style-type: none"> • Activity1 の場合: <ul style="list-style-type: none"> • 4 - 現在の日時が SLA_STATUS5_DATE よりも大きい場合 • 3 - 現在の日時が SLA_STATUS5_DATE 未満だが SLA_STATUS4_DATE より大きい場合 • 2 - 現在の日時が [LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS4_DATE] 未満で、[LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS3_DATE] 以上である場合 • 1 - 現在の日時が [LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS3_DATE] 未満で、[LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS2_DATE] 以上である場合 • 0 - 現在の日時が [LIVE_ACTIVITY].[SLA_STATUS2_DATE] より小さい場合 • -1 - その他の場合。 • Activity2 およびActivity3 の場合、値は 0 です。 |
| TYPE | Activity1 の場合、タイプは TYPE 列から設定され、Activity2 とActivity3 の場合、ACTIVITY_TYPE 列から設定されます。 |
| VERSION | VERSION |
| PENDING_TIME | Activity1 の場合、時間は PENDING_TIME 列から設定され、Activity2 およびActivity3 の場合、時間は TIME_PENDING_IN_SECS および SET_TIME 列から計算されます。 |
| PENDING_TIME_IN_SECONDS | Activity1 の場合、時間は PENDING_TIME 列から計算され、Activity2 の場合、TIME_PENDING_IN_SECS から計算されます。 |
| TAKEN_TIME | Activity1 の場合は TAKEN_TIME から時間が設定され、Activity2 とActivity3 の場合はヌルです。 |
| PROCESS_ID | 文字列としての PROCESS NAME + PROCESS_ID。 |
| JOB_ID | JOB_ID |
| PERFORMING_RESOURCE_ID | Activity1 の場合、値は PERFORMING_RESOURCE_ID 列から設定され、Activity2 とActivity3 の場合、RESOURCE_ID 列から設定されます。 |
| COST | Activity1 の場合、値はヌルであり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は COST 列から設定されます。 |
| WORKING_TIME_SPENT | Activity1 の場合、値はヌルであり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は WORKING_TIME_SPENT_IN_SECONDS 列から設定されます。 |
| ta_embedded_process_count | EMBEDDED_PROCESS_COUNT |
| ta_node_id | NODE_ID |
| LIVE | Activity1 の場合、値は 1 であり、Activity2 およびActivity3 の場合、値は 0 です。 |
| PROCESS_ID_2 | PROCESS_ID |
| DesignTimeType | DESIGN_TIME_TYPE |
| ServerId | Activity1 およびActivity3 の場合、値は [SERVER_DATA] です。SERVER_ID から設定され、Activity2 の場合、値はヌルです。 |

| Activity1 レコード | LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列 |
|----------------|--|
| MACHINE_NAMES | Activity1 およびActivity3 の場合、値は [MACHINE_NAMES] です。MACHINE_NAME から設定され、Activity2 の場合、値は MACHINE_NAME から設定されます。 |

注 上記のように、Activity2 とActivity3 のレコードは、それぞれのテーブルから同様の情報を取得します。

アクティビティ レコードには、次のフィールドが格納されます。

| アクティビティ レコード | Activity1 テーブルのソース列 |
|------------------------------|---|
| EMBEDDED_PROCESS_COUNT | EMBEDDED_PROCESS_COUNT |
| NODE_ID | NODE_ID |
| ACTIVITY_STATUS | ACTIVITY_STATUS |
| AUTOMATIC | AUTOMATIC |
| DUE_DATE | DUE_DATE |
| COMPLETED_DATE | 終了日から計算 |
| EXPECTED_COST | EXPECTED_COST |
| EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS | EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS |
| NODE_NAME | NODE_NAME |
| PRIORITY | Activity1 の場合は PRIORITY から設定され、Activity2 とActivity3 の場合 1 です。 |
| PROCESS_NAME | PROCESS_NAME |
| SLA_STATUS | SLA_STATUS |
| TYPE | TYPE |

| Activity1 レコード | LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列 |
|---------------------------|---------------------------|
| VERSION | VERSION |
| PENDING_TIME | PENDING_TIME |
| PENDING_TIME_IN_SECONDS | PENDING_TIME_IN_SECONDS |
| TAKEN_TIME | TAKEN_TIME |
| PROCESS_ID | PROCESS_ID |
| JOB_ID | JOB_ID |
| PERFORMING_RESOURCE_ID | PERFORMING_RESOURCE_ID |
| COST | COST |
| WORKING_TIME_SPENT | WORKING_TIME_SPENT |
| ta_embedded_process_count | ta_embedded_process_count |
| ta_node_id | ta_node_id |

| Activity1 レコード | LIVE_ACTIVITY テーブルのソース列 |
|----------------|--|
| LIVE | LIVE |
| PROCESS_ID_2 | PROCESS_ID_2 |
| DesignTimeType | DesignTimeType |
| ServerId | ServerId |
| MACHINE_NAMES | MACHINE_NAMES |
| IsCapture | [設計アクティビティタイプキャプチャ],[_ItemId] IS NULL の場合は 0、その他の場合は 1 です。 |
| AUTOMATIC | AUTOMATIC |

ジョブ レコード

ジョブレコードは、次のレコードの組み合わせです。

- Job1- ソース テーブル = JOB、ソース データベース = TotalAgility
- Job2 - ソース テーブル = FINISHED_JOB、ソース データベース = TotalAgilityFinished

注 Job1とJob2 のレコードは一時的なユーティリティ テーブルであり、コンテンツは 1 時間ごとのデータ ロードによって完全に更新されるため、カスタム レコード/メトリックのデータソースとして使用しないでください。

ジョブ レコードには、ジョブの最新の対応するビジネス プロセス バージョンがARCHIVE_TO_PI = 真であるジョブが入力されます。

Job1 のレコードには、次のフィールドが格納されます。

| Job1 レコード | ソース列 |
|------------------------------|--|
| COST_OVERRUN | COST_OVERRUN |
| CREATION_TIME | CREATION_TIME |
| DURATION_OVERRUN | DURATION_OVERRUN |
| EXPECTED_COST | EXPECTED_COST |
| EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS | EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS |
| FINISH_TIME | FINISH_TIME |
| JOB_STATUS | JOB_STATUS |
| JOB_PERCENT | Job1 の場合、値は 0 です。Job2 の場合、値は JOB_PERCENT から取得されます。 |

| Job1 レコード | ソース列 |
|--|--|
| PRIORITY | PRIORITY |
| SLA_STATUS | <ul style="list-style-type: none"> • 4 - 現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合 • 3 - 現在の日時が [SLA_STATUS5_DATE] 未満で [SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合 • 2 - 現在の日時が [SLA_STATUS4_DATE] 未満で [SLA_STATUS3_DATE] と等しい場合 • 1 - 現在の日時が [SLA_STATUS3_DATE] 未満で、[SLA_STATUS2_DATE] 以上である場合 • 0 - 現在の日時が [SLA_STATUS2_DATE] 未満である場合 • -1 - その他の場合。 |
| START_TIME | START_TIME |
| LAST_MODIFIED_DATE | LAST_MODIFIED_DATE |
| TYPE | TYPE |
| VERSION | VERSION |
| EXPECTED_FINISH_TIME | EXPECTED_FINISH_TIME |
| STATE | STATE |
| WORKING_DURATION_DAYS | Job1 の場合は -1、Job2 の場合は WORKING_DURATION_DAYS から取得されます。 |
| PROCESS_ID | 文字列としての PROCESS_NAME + PROCESS_ID |
| CATEGORY_ID | CATEGORY_ID |
| JOB_ID | JOB_ID |
| SOURCE | JOB_SOURCE |
| Creator | CREATOR |
| Owner | JOB_OWNER_ID |
| PROCESS_ID_2 | PROCESS_ID |
| PROCESS_NAME | PROCESS_NAME |
| ServerId | ORIGIN_SERVER_ID |
| WorkType | WORK_QUEUE_DEFINITION_ID |
| AssociatedCaseld | ASSOCIATED_CASE_ID |
| EXCEPTION_RAISED_BY | RAISED_BY |
| <ul style="list-style-type: none"> • 0 - なし、通常ジョブ • 1 - ServerException • 2 - ProcessException • 3 - トリガー • 4 - アラート • 5 - DocumentSet | |

Job2 レコードは、同様の情報を取得します。

ジョブ レコードには、次のフィールドが格納されます。

| ジョブ レコード | Job1 テーブルのソース列 |
|------------------------------|---|
| COST_OVERRUN | COST_OVERRUN |
| CREATION_TIME | CREATION_TIME |
| DURATION_OVERRUN | DURATION_OVERRUN |
| EXPECTED_COST | EXPECTED_COST |
| EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS | EXPECTED_DURATION_IN_SECONDS |
| FINISH_TIME | FINISH_TIME |
| JOB_STATUS | JOB_STATUS |
| JOB_PERCENT | Job1 の場合は 0、Job2 の場合は JOB_PERCENT から取得されます。 |
| PRIORITY | PRIORITY |
| SLA_STATUS | [SLA_STATUS] > [MaxSLA].[SLA] の場合は [MaxSLA].[SLA] その他の場合は [SLA_STATUS] |
| START_TIME | START_TIME |
| LAST_MODIFIED_DATE | LAST_MODIFIED_DATE |
| TYPE | TYPE |
| VERSION | VERSION |
| EXPECTED_FINISH_TIME | EXPECTED_FINISH_TIME |
| STATE | STATE |
| WORKING_DURATION_DAYS | WORKING_DURATION_DAYS |
| PROCESS_ID | PROCESS_ID |
| CATEGORY_ID | CATEGORY_ID |
| JOB_ID | JOB_ID |
| SOURCE | SOURCE |
| Creator | Creator |
| Owner | Owner |
| PROCESS_ID_2 | PROCESS_ID_2 |
| PROCESS_NAME | PROCESS_NAME |
| ServerId | ServerId |
| WorkType | WorkType |
| AssociatedCaselId | AssociatedCaselId |
| EXCEPTION_RAISED_BY | EXCEPTION_RAISED_BY |
| IsCapture | [BusinessProcess].[IsCapture] |
| BatchId | これはバッチ ID です |

| ジョブ レコード | Job1 テーブルのソース列 |
|--------------|----------------|
| IsValidValue | false |

ドキュメント レコード

このレコードは、レポート データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- doc_dim
- doc_accum_fact
- doc_sess_snaphost_fact
- datch_sess_snaphost_fact
- etl_job
- path_dim
- tfs_class_dim

DocumentBase レコードには、次のフィールドが格納されます。

| DocumentBase レコード | ソース列 |
|-------------------|--|
| doc_key | Doc_dim.doc_key |
| doc_class | Doc_dim.doc_class_key |
| initial_doc_class | Doc_dim.initial_doc_class_key |
| Changed | Doc_dim.doc_class_key = Doc_dim.initial_doc_class_key の場合、値は 0 で、その他の場合は 1 です。 |
| review_datetime | 1/1/1900 - Doc_dim.dt_last_review_datetimeが 1900 未満の場合、およびその他の場合は Doc_dim.dt_last_review_datetime。 |
| Reviewed | Doc_dim.dt_last_review_datetime が Doc_dim.dt_last_class_datetime より大きい場合、値は 1 で、その他の場合は 0 です。 |
| Validated | [doc_sess_snapshot_fact].[session_type]&2 = 2 の場合、値は 1 で、その他の場合は 0 です。 |
| Classified | [doc_sess_snapshot_fact].[session_type]&4 = 4 の場合、値は 1 で、その他の場合は 0 です。 |
| Extracted | [doc_sess_snapshot_fact].[session_type]&1 = 1 の場合、値は 1 で、その他の場合は 0 です。 |
| PROCESSED | Doc_dim.is_exported |
| Id | (使用不可) - [doc_accum_fact].[page_num] < 0 OR ([Doc_dim].[initial_doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[initial_tsf_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[group_value_key] < 0 AND [Doc_dim].[tsf_class_key] < 0) の場合。 その他の場合は、[Doc_dim].[in_sub_folder_position]、[Doc_dim].[display_name]、および [doc_accum_fact].[page_num] で計算されます。 |
| display_name | [Doc_dim].[display_name] |
| is_sys_classified | [Doc_dim].[is_sys_classified] |

| DocumentBase レコード | ソース列 |
|------------------------------|---|
| doc_id | [Doc_dim].[doc_id] |
| in_root_fold_pos_sys_clsfc | [Doc_dim].[in_root_fold_pos_sys_clsfc] |
| in_sub_folder_position | [Doc_dim].[in_sub_folder_position] |
| in_root_folder_position | [Doc_dim].[in_root_folder_position] |
| is_attended_session | 1 - [batch_sess_snapshot_fact].[is_attended_sess] = 1 の場合 0 - その他の場合 |
| id_no_page_num | (使用不可) [doc_accum_fact].[page_num] < 0 OR ([Doc_dim].[initial_doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[initial_tsfc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[doc_class_key] < 0 AND [Doc_dim].[group_value_key] < 0 AND [Doc_dim].[tsfc_class_key] < 0) の場合。 その他の場合は、[Doc_dim].[in_root_fold_pos_sys_clsfc]、および [Doc_dim].[display_name] で計算されます |
| Batch_key | Doc_accum_fact.Batch_key |
| Confident | Doc_accum_fact.is_confly_classified |
| time_spent_in_classification | [doc_accum_fact].[ms_in_class] |
| Classified_datetime | Doc_dim.dt_last_class_datetime |
| page_num | [doc_accum_fact].[page_num] |
| key_strok_num | [doc_accum_fact].[key_strok_num] |
| field_num | [doc_accum_fact].[field_num] |
| class_confidence_perc | [doc_accum_fact].[class_confidence_perc] |
| doc_sess_duration_ms | [doc_sess_snapshot_fact].[doc_sess_duration_ms] if [batch_sess_snapshot_fact].[is_attended_sess] = 1 0 - その他の場合 |
| all_doc_sess_duration_ms | [doc_sess_snapshot_fact].[doc_sess_duration_ms] |
| dt_last_proc_datetime | [etl_job].[etl_end_time] |
| ta_document_group_name | [tsfc_class_dim].[ta_document_group_name] |
| ta_document_type_id | [tsfc_class_dim].[ta_document_type_id] |
| path_closest_subfolder | [path_dim].[path_closest_subfolder] |
| full_path_wo_closest | [path_dim].[full_path_wo_closest] |

ドキュメント レコードには、次のフィールドが格納されます。

| ドキュメント レコード | DocumentBase テーブルのソース列 |
|-------------------|------------------------|
| doc_key | doc_key |
| doc_class | doc_class |
| initial_doc_class | initial_doc_class |
| Changed | Changed |
| review_datetime | review_datetime |

| ドキュメントレコード | DocumentBase テーブルのソース列 |
|------------------------------|---|
| Batch_key | Batch_key |
| Confident | Confident |
| time_spent_in_classification | time_spent_in_classification |
| confidence_percentage | class_confidence_perc / 100 |
| Reviewed | Reviewed |
| Validated | Validated |
| Classified | Classified |
| extracted | extracted |
| PROCESSED | PROCESSED |
| dt_last_proc_datetime | dt_last_proc_datetime |
| ta_document_group_name | ta_document_group_name |
| Id | Id |
| path_closest_subfolder | path_closest_subfolder |
| display_name | display_name |
| full_path_wo_closest | full_path_wo_closest |
| page_num | page_num |
| doc_sess_duration_ms | doc_sess_duration_ms |
| is_sys_classified | [Document Classified Last].[doc_key] IS NULL の場合、 値は 0 で、その他の場合は 1 です。 |
| doc_id | doc_id |
| in_root_fold_pos_sys_clsf | in_root_fold_pos_sys_clsf |
| in_sub_folder_position | in_sub_folder_position |
| in_root_folder_position | in_root_folder_position |
| key_strok_num | key_strok_num |
| is_attended_session | is_attended_session |
| field_num | field_num |
| all_doc_sess_duration_ms | all_doc_sess_duration_ms |
| id_no_page_num | id_no_page_num |
| field_value | [Field Fact].[field_value] |
| classified_datetime | [Document Classified Last].[full_date_time] |
| classification_group_name | [Document Classified Last].[classification_group_name = NULL の場合は「設定されていません」 その他の場合は [Document Classified Last]. [classification_group_name。 |
| CATEGORY_ID | [Document Classified Last].[CATEGORY_ID] |

| ドキュメント レコード | DocumentBase テーブルのソース列 |
|----------------------|---|
| is_confly_classified | [Document Classified Last].[is_confly_classified] |
| Initial Class | [Document Classified Last].[curr_tsf_class] |
| Class | [DocumentClass].[Class] |
| BatchId | これはバッチ ID です |
| IsValidValue | false |

Field Fact レコード

このレコードは、レポート データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- field_accum_fact
- field_dim
- field_column_dim
- Etl_job はありません

Field Fact レコードには、次のフィールドが格納されます。

| Field Fact レコード | ソース列 |
|------------------------|--|
| Confidence | [field_accum_fact].[field_column_key] <> - 1 の場合は null その他の場合は Field_accum_fact.field_confidence_perc / 100 |
| doc_key | Field_accum_fact.doc_key |
| field_name | [field_accum_fact].[field_column_key] <> - 1 の場合は - 1 * [field_accum_fact].[field_column_key] その他の場合は [field_accum_fact].[field_key] |
| field_value | Field_accum_fact.field_value |
| original_value | Field_accum_fact.original_value |
| recognized_length | Field_accum_fact.chars_recognized_num |
| field_tbl_index | [field_accum_fact].[field_tbl_index] |
| Table Name | [field_accum_fact].[field_column_key] <> - 1 の場合は [field_accum_fact].[field_key] その他の場合は 0 |
| extr_batch_sess_key | [field_accum_fact].[extr_batch_sess_key] |
| extr_manual_sess_key | [field_accum_fact].[extr_manual_sess_key] |
| field_recog_status_key | [field_accum_fact].[field_recog_status_key] |
| etl_end_time | [etl_job].[etl_end_time] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時) で計算 |

リソース グループ レコード

このレコードは、TotalAgility データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- AW_RESOURCE
- GROUP_MEMBERS

リソース グループ レコードには、次のフィールドが格納されます。

| リソース グループ レコード | ソース列 |
|----------------|--|
| Group_01 | AW_RESOURCE.RESOURCE_TYPE==3 の場合 AW_RESOURCE.RESOURCE_ID その他の場合は GROUP_MEMBERS.GROUP_RESOURCE_ID |
| Resource | AW_RESOURCE.RESOURCE_ID |
| ServerId | AW_RESOURCE.SERVER_ID |

キュー レコード

このレコードは、TotalAgility データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- LIVE_ACTIVITY
- LIVE_ACTIVITY_RESOURCE
- ジョブ
- CASE_INSTANCE
- SERVER_DATA

キュー レコードには、次のフィールドが格納されます。

| キュー レコード | ソース列 |
|---------------|-------------------------------|
| JOB_ID | LIVE_ACTIVITY_RESOURCE.JOB_ID |
| PROCESS | JOB.PROCESS_ID |
| Category_01 | JOB.CATEGORY_ID |
| Job Priority | JOB.[PRIORITY] |
| WorkType | JOB.WORK_QUEUE_DEFINITION_ID |
| Creation_Time | JOB.[CREATION_TIME] |
| Complete Date | 終了日から計算 |

| キューレコード | ソース列 |
|-----------------------------|---|
| VERSION | JOB.[VERSION] |
| JOB_SLA_STATUS | <ul style="list-style-type: none"> 4 - 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合 3 - 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS5_DATE] 以下で JOB.[SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合 2 - 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS4_DATE] 以下で JOB.[SLA_STATUS3_DATE] より大きい場合 1 - 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS3_DATE] 以下で JOB.[SLA_STATUS2_DATE] より大きい場合 0 - 現在の日時が JOB.[SLA_STATUS2_DATE] 以下である場合 -1 - その他の場合 |
| CASE_REFERENCE | 次の SQL 関数で計算: COALESCE(CASE_INSTANCE.[CASE_REFERENCE], CASE_INSTANCE.[CASE_REFERENCE]) JOB.JOB_OWNER_ID |
| STATE | JOB.[STATE] |
| Creator | JOB.Creator |
| EMBEDDED_PROCESS_COUNT 1 | JOB.[EMBEDDED_PROCESS_COUNT] |
| JOB_STATUS | JOB.[JOB_STATUS] |
| JOB_SOURCE | JOB.[JOB_SOURCE] |
| PROCESS_ID_2 | JOB.PROCESS_ID |
| PRIORITY | JOB.[PRIORITY] |
| NODE_ID | LIVE_ACTIVITY_RESOURCE.NODE_ID |
| EMBEDDED_PROCESS_COUNT | LIVE_ACTIVITY.EMBEDDED_PROCESS_COUNT |
| ACTIVITY_SLA_STATUS | <ul style="list-style-type: none"> 4 - 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS5_DATE] よりも大きい場合 3 - 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS5_DATE] 以下で LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS4_DATE] より大きい場合 2 - 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS4_DATE] 以下で LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS3_DATE] より大きい場合 1 - 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS3_DATE] 以下で LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS2_DATE] より大きい場合 0 - GETDATE() が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS2_DATE] 以下である場合 -1 - その他の場合は LIVE_ACTIVITY.[AUTOMATIC] <> 0 である場合 |
| ACTIVITY_STATUS | LIVE_ACTIVITY.ACTIVITY_STATUS |
| PENDING_TIME | LIVE_ACTIVITY.PENDING_TIME |
| NODE_NAME | LIVE_ACTIVITY.NODE_NAME |
| DesignTimeType | LIVE_ACTIVITY.[DESIGN_TIME_TYPE] |
| AUTOMATIC | LIVE_ACTIVITY.[AUTOMATIC] |
| DUE_DATE | LIVE_ACTIVITY.[DUE_DATE] が NULL の場合 JOB.[LAST_MODIFIED_DATE] その他の場合は LIVE_ACTIVITY.[DUE_DATE] |

| キューレコード | ソース列 |
|-------------------------|--|
| PENDING_TIME_IN_SECONDS | LIVE_ACTIVITY.[PENDING_TIME] |
| DOCUMENT_COUNT | LIVE_ACTIVITY.[DOCUMENT_COUNT] |
| PAGE_COUNT | LIVE_ACTIVITY.[PAGE_COUNT] |
| ACTIVITY_PRIORITY | LIVE_ACTIVITY.[PRIORITY] |
| USE_ADV_WORKFLOW_RULES | LIVE_ACTIVITY.[USE_ADV_WORKFLOW_RULES] |
| RESOURCE | JOB.PERFORMING_RESOURCE_ID |
| SLA_STATUS | 2 現在の日時が LIVE_ACTIVITY.[SLA_STATUS3_DATE] よりも大きい場合 その他の場合は -1 |
| ServerId | SERVER_DATA.SERVER_ID |

フィールド精度レコード

このレコードは、レポート データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- Field_accum_fact
- Doc_dim
- etl_job

フィールド精度レコードには、次のフィールドが格納されます。

| フィールド精度レコード | ソース列 |
|-----------------|---|
| Class | [doc_dim].[doc_class_key] |
| Conf_chars | SUM(field_accum_fact.conf_chars_num) |
| Field_01 | [field_accum_fact].[field_column_key] <> - 1 の場合は - 1 * [field_accum_fact]. [field_column_key] その他の場合は [field_accum_fact].[field_key] |
| Field_num | field_accum_fact.Count(*) |
| fields_changed | [field_accum_fact].[field_recog_status_key] = 2 OR [field_accum_fact]. [field_recog_status_key] = 4 である場合のフィールドの合計 |
| total_chars | SUM(Field_accum_fact.chars_recognized_num) |
| validated_chars | SUM(Field_accum_fact.chars_validated_num) |
| dt_last_valid | [field_accum_fact].[dt_last_valid] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時) で計算 |
| etl_end_time | [etl_job].[etl_end_time] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時) で計算 |

セッションレコード

このレコードは、レポート データベースの次のテーブルから情報を取得します。

- batch_sess_snapshot_fact

- etl_job
- station.dim

セッション レコードには、次のフィールドが格納されます。

| セッション レコード | ソース列 |
|----------------------------|---|
| !batch_key | batch_sess_snapshot_fact.batch_key |
| !conf_classes_changed_num | batch_sess_snapshot_fact.conf_classes_changed_num |
| !corr_split_points_num | batch_sess_snapshot_fact.corr_split_points_num |
| !docs_compl_num | batch_sess_snapshot_fact.docs_compl_num |
| !docs_created_num | batch_sess_snapshot_fact.docs_created_num |
| !docs_deleted_num | batch_sess_snapshot_fact.docs_deleted_num |
| !docs_num | batch_sess_snapshot_fact.docs_num |
| !docs_unclassified_num | batch_sess_snapshot_fact.docs_unclassified_num |
| !dt_end_datetime | [batch_sess_snapshot_fact].[dt_end_datetime] + (現在の日時 – 現在の UTC 日時) |
| !folders_created_num | batch_sess_snapshot_fact.folders_created_num |
| !folders_deleted_num | batch_sess_snapshot_fact.folders_deleted_num |
| !folders_merged_num | batch_sess_snapshot_fact.folders_merged_num |
| !folders_split_num | batch_sess_snapshot_fact.folders_split_num |
| !is_attended_sess | batch_sess_snapshot_fact.is_attended_sess = 1 |
| !key_strok_num | batch_sess_snapshot_fact.key_strok_num |
| !missed_split_points_num | batch_sess_snapshot_fact.missed_split_points_num |
| !pages_deleted_num | batch_sess_snapshot_fact.pages_deleted_num |
| !pages_num | batch_sess_snapshot_fact.pages_num |
| !pages_replaced_num | batch_sess_snapshot_fact.pages_replaced_num |
| !pages_scanned_num | batch_sess_snapshot_fact.pages_scanned_num |
| !sess_duration_sec | batch_sess_snapshot_fact.sess_duration_sec |
| !session_type | batch_sess_snapshot_fact.session_type |
| !sugg_classes_accepted_num | batch_sess_snapshot_fact.sugg_classes_accepted_num |
| !sugg_classes_changed_num | batch_sess_snapshot_fact.sugg_classes_changed_num |
| !ta_embedded_process_count | batch_sess_snapshot_fact.ta_embedded_process_count |
| !ta_job_id | batch_sess_snapshot_fact.ta_job_id |
| !ta_node_id | batch_sess_snapshot_fact.ta_node_id |
| !user_key | batch_sess_snapshot_fact.user_key |
| !wrong_split_points_num | batch_sess_snapshot_fact.wrong_split_points_num |
| !station name | station_dim.station_name |

| セッションレコード | ソース列 |
|--------------------------|--|
| !Etl_end_time | [etl_job].[etl_end_time] + (現在の日時 - 現在の UTC 日時) |
| !batch_sess_snapshot_key | [batch_sess_snapshot_fact].[batch_sess_snapshot_key] |
| mod_key | [batch_sess_snapshot_fact].[mod_key] |